

府中等学校 令和3年度 年間授業計画

教科:(国語) 科目:(現代文B) 対象:(第3学年 1組 ~ 7組) 3単位

教科担当者:

使用教科書: (「現代文B」数研出版)

	指導内容	科目「現代文B」の具体的な指導目標	評価の観点・方法	予定時数
4月	・ 評論 「文化が違う」とは何を意味するのか? ・ 入試漢字	始業式・入学式・オリエンテーション ・ 社会や文化に広く目を向ける。 ・ 論理的思考力を養うとともに、読解や表現の力を高める。 ・ 総合的な言語能力を育成する。	「興味・関心」 「意欲・態度」 「技能・表現」 「ワークシート」 「漢字小テスト」	9
5月	・ 小説「赤い繭」 ・ 入試漢字	・ 文学的な文章を読んで、読解や表現の力を高める。 ・ 文学的な文章を読んで、小説の読み方を学ぶ。 ・ 総合的な言語能力を育成する。	「興味・関心」 「意欲・態度」 「技能・表現」 「ワークシート」 「漢字小テスト」	9
		中間考査・校外学習		
	・ 評論 (二)			
6月	・ 評論 「人はなぜ働かなくてはならないのか」 ・ 小説 「朝のヨット」 ・ 入試漢字	・ 評論を読んで、構成、展開、要旨などを的確にとらえ、その論理性を評価する。 ・ 評論を読んで批評することを通して、人間、社会、自然などについて自分の考えを深めたり発展させたりする。 ・ 語句の意味、用法を的確に理解し、語彙を豊かにするとともに、自分の表現や推敲に役立てる。	「興味・関心」 「意欲・態度」 「技能・表現」 「ワークシート」 「漢字小テスト」	12
7月	・ 小説 「朝のヨット」 ・ 入試漢字	期末考査 ・ 小説を読んで、登場人物の心理を把握する。 ・ 総合的な言語能力を育成する。	定期考査得点 「興味・関心」 「意欲・態度」 「技能・表現」 「ワークシート」 「漢字小テスト」	6
		終業式		
9月	・ 評論 「である」ことと「する」こと ・ 入試漢字	・ 文章を読んで、構成、展開、要旨などを的確にとらえ、その論理性を評価する。 ・ 文章を読んで批評することを通して、人間、社会、自然などについて自分の考えを深めたり発展させたりする。 ・ 読むことを中心としながら、総合的な国語力を養う。 ・ 総合的な言語能力を育成する。	「興味・関心」 「意欲・態度」 「技能・表現」 「ワークシート」 「漢字小テスト」	12
10月	・ 小説「檸檬」 ・ 入試漢字	・ 文章を読んで、書き手の意図や、人物、情景、心情の描写などを的確にとらえ、表現を味わう。 ・ 登場人物の生き方やその表現の仕方などについて話し合う。 ・ 文章を読んで批評することを通して、人間、社会、自然などについて自分の考えを深めたり発展させたりする。	「興味・関心」 「意欲・態度」 「技能・表現」 「ワークシート」 「漢字小テスト」	12
		中間考査		
11月	・ 入試問題演習 ・ 入試漢字	・ 文章を読んで、構成、展開、要旨などを的確にとらえ、その論理性を評価する。 ・ 文章を読んで批評することを通して、人間、社会、自然などについて自分の考えを深めたり発展させたりする。 ・ 語句の意味、用法を的確に理解し、語彙を豊かにするとともに、自分の表現や推敲に役立てる。 ・ 入試に向け、問題演習を行う。	「興味・関心」 「意欲・態度」 「技能・表現」 「ワークシート」 「漢字小テスト」	12
12月	・ 入試問題演習 ・ 入試漢字	期末考査 ・ 入試に向け、問題演習を行う。 ・ 総合的な言語能力を育成する。	定期考査得点 「興味・関心」 「意欲・態度」 「技能・表現」 「ワークシート」 「漢字小テスト」	6
		終業式		
1月	・ 入試問題演習	・ 入試に向け、問題演習を行う。	「興味・関心」 「意欲・態度」 「技能・表現」 「ワークシート」 「漢字小テスト」	2
2月				
3月		卒業式予行・卒業式		
		修了式		

府中等学校 令和3年度 年間授業計画

教科:(国語) 科目:(古典B) 対象: 第(3)学年 (2)単位

教科担当者:

使用教科書:(精選古典B 古文編 教育出版)

使用教材:(完全マスター古典文法、古典文法基礎ドリル、カラー版 新国語便覧、重要古文単語330)

	指導内容	科目「古典B」の具体的な指導目標	評価の観点・方法	予定 時数
4月		始業式・入学式・オリエンテーション	「興味・関心」「意欲・態度」「技能・表現」「ワークシート」提出物、授業態度、小テスト、定期考査を総合的に鑑みて判断する。	6
	『枕草子』 「宮に初めて参りたる頃」	・口語訳の基本事項を復習し、品詞について理解する。		
	【文法事項】 用言総復習	・用言の基礎知識の復習をし、用言の活用と活用の種類について理解する。 ・係り結びの法則や音便について理解する。		
5月	『枕草子』 「宮に初めて参りたる頃」	・敬語の種類と敬意の方向、特殊な敬語法について理解する。 ・助動詞の基本事項を復習し、文法的意味・活用・接続について理解する。	「興味・関心」「意欲・態度」「技能・表現」「ワークシート」提出物、授業態度、小テスト、定期考査を総合的に鑑みて判断する。	6
	【文法事項】 助動詞総復習	中間考査 中間考査・校外学習 ・中間考査で間違えた文法事項を復習する。		
6月	『大鏡』 「中宮安子の嫉妬」	・省略されている主語を敬語をふまえて補い、物語の筋をとらえることができるようになる。 ・歴史物語の特徴を知り、史実への理解を深める。	「興味・関心」「意欲・態度」「技能・表現」「ワークシート」提出物、授業態度、小テスト、定期考査を総合的に鑑みて判断する。	8
	【文法事項】 助動詞総復習 助詞総復習	・助動詞の基本事項を復習し、文法的意味・活用・接続について理解する。 ・助詞の基本事項を復習し、意味や用法について理解する。		
7月	1学期中の文法事項の復習 敬語について	期末考査 ・敬語法について、敬語の種類や敬意の方向を理解する。	「興味・関心」「意欲・態度」「技能・表現」「ワークシート」提出物、授業態度、小テスト、定期考査を総合的に鑑みて判断する。	4
		終業式		
9月	『源氏物語』 「藤壺の宮の入内」	・敬語法について復習し、省略されている主語を補い、話の筋をつかめるようにする。 ・登場人物の心情を話の筋に沿って理解する。	「興味・関心」「意欲・態度」「技能・表現」「ワークシート」提出物、授業態度、小テスト、定期考査を総合的に鑑みて判断する。	8
	【文法事項】 識別	・助動詞や助詞、用言などの文法事項について識別ができるようになる。		
10月	『源氏物語』 「藤壺の宮の入内」	・光源氏の心情や文章の構成などについて理解する。 ・本文中で扱われている敬語について敬意の対象を理解する。	「興味・関心」「意欲・態度」「技能・表現」「ワークシート」提出物、授業態度、小テスト、定期考査を総合的に鑑みて判断する。	8
	【文法事項】 識別	・基礎基本を振り返りながら、知識を活用して問題を解く力を養う。		
		中間考査		
11月	文法事項の問題演習 センター試験対策問題演習 入試問題解法	・様々な古文にあたり、初見の文章に対して解釈できる力を養う。 ・センター試験の形式の問題演習に取り組み、時間内に解ききる力を養う。 ・基礎基本を振り返りながら、知識を活用して問題を解く力を養う。	「興味・関心」「意欲・態度」「技能・表現」「ワークシート」提出物、授業態度、小テスト、定期考査を総合的に鑑みて判断する。	8
12月	文法事項の問題演習 センター試験問題演習 入試問題解法	期末考査 期末考査 ・様々な古文にあたり、初見の文章に対して解釈できる力を養う。	「興味・関心」「意欲・態度」「技能・表現」「ワークシート」提出物、授業態度、小テスト、定期考査を総合的に鑑みて判断する。	4
		終業式		
1月	センター試験問題演習 入試問題解法	・センター試験の形式の問題演習に取り組み、時間内に解ききる力を養う。 ・入試に向けて、弱点補強しつつ、実践力を向上させる。	「興味・関心」「意欲・態度」「技能・表現」「ワークシート」提出物、授業態度、小テスト、定期考査を総合的に鑑みて判断する。	4
2月				
3月		学年末考査・卒業式予行・卒業式		
		修了式		

府中高等学校 令和3年度 年間授業計画

教科：国語 科目：必修選択現代文B 単位数：2単位
 対象学年組：第3学年 必修選択現代文B①～③
 教科担当者：
 使用教科書：（「L T 現代文4」 浜島書店）
 使用教材：（「新しいセンター試験国語 対策問題集 現代文編」 桐原書店）

指導内容	科目〇〇の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月 評論を中心とした現代文問題演習	始業式・入学式・オリエンテーション ・評論を読み解く方法を知る。 ・評論をキーワードやキーセンテンスを理解して読み取る。 ・現代文読解に必要な現代用語の知識を増やす。	「興味・関心」「意欲・態度」「技能・表現」「ワークシート」提出物、授業態度、定期考査を総合的に鑑みて判断する。	6
5月 評論を中心とした現代文問題演習	・小説の登場人物の心情の変化を知る。 ・随想の展開と筆者の考え方を押さえて読むことができる。 校外学習 中間考査 ・小説の登場人物の心情の変化を読み取る。	「興味・関心」「意欲・態度」「技能・表現」「ワークシート」提出物、授業態度、定期考査を総合的に鑑みて判断する。	6
6月 評論を中心とした現代文問題演習	・評論を文章の展開に即して的確に読み取る。 ・評論において、筆者が対比して論じている内容を読み取る。 ・小説の登場人物の表情や比喩表現を押さえて心情を把握する。 ・現代文読解に必要な現代用語の知識を増やす。	「興味・関心」「意欲・態度」「技能・表現」「ワークシート」提出物、授業態度、定期考査を総合的に鑑みて判断する。	8
7月 評論を中心とした現代文問題演習	期末考査 ・大学入試レベルの問題を客観的に解くことができる。 終業式	「興味・関心」「意欲・態度」「技能・表現」「ワークシート」提出物、授業態度、定期考査を総合的に鑑みて判断する。	4
8月			
9月 評論を中心とした現代文問題演習	・大学入試レベルの問題を客観的に解くことができる。 ・現代文読解に必要な現代用語の知識を増やす。	「興味・関心」「意欲・態度」「技能・表現」「ワークシート」提出物、授業態度、定期考査を総合的に鑑みて判断する。	8
10月 評論を中心とした現代文問題演習	・大学入試レベルの問題を客観的に解くことができる。 ・現代文読解に必要な現代用語の知識を増やす。 中間考査	「興味・関心」「意欲・態度」「技能・表現」「ワークシート」提出物、授業態度、定期考査を総合的に鑑みて判断する。	8
11月 評論を中心とした現代文大学入試問題演習	・大学入試レベルの問題を客観的に、指定時間内に解くことができる。 ・現代文読解に必要な現代用語の知識を増やす。	「興味・関心」「意欲・態度」「技能・表現」「ワークシート」提出物、授業態度、定期考査を総合的に鑑みて判断する。	8
12月 評論を中心とした現代文大学入試問題演習	期末考査 ・大学入試レベルの問題を客観的に、指定時間内に解くことができる。 終業式	「興味・関心」「意欲・態度」「技能・表現」「ワークシート」提出物、授業態度、定期考査を総合的に鑑みて判断する。	4
1月 評論を中心とした現代文大学入試問題演習	・大学入試レベルの問題を客観的に、指定時間内に解くことができる。 ・現代文読解に必要な現代用語の知識を増やす。	「興味・関心」「意欲・態度」「技能・表現」「ワークシート」提出物、授業態度、定期考査を総合的に鑑みて判断する。	2
2月			
3月	学年末考査・卒業式予行・卒業式 修了式		

府中等学校 令和3年度 年間授業計画

教科:(国語) 科目:(必修選択古典(4単位)) 対象:(第3学年必修選択者) 4単位

教科担当者:

使用教科書:(精選古典B 古文編、漢文編 教育出版)

使用教材:(ステップアップノート30古典文法基礎ドリル 河合出版 ・古文単語330 いいずな書店 ・読み解く古文② 浜島書店 ・完全マスター古典文法 第一学習社 ・新国語便覧 第一学習社 ・漢文学携四訂版 桐原書店 ・漢文必携四訂版チェックノート 桐原書店 ・新しいセンター試験国語対策問題集古典編 桐原書店)

指導内容	科目「必修選択古典B(4単位)」の具体的な指導目標	評価の観点・方法	予定時数
4月	始業式・入学式・オリエンテーション	「知識・理解」 「ワークシート」 「小テスト」	12
	・必要に応じて教科書本文に即しながら、入試に向けての基礎力を養う。		
	・様々な古文や漢文にあたり、解釈の方法を身につける。 ・基本的な古典の知識を身につけ、知識を実際に利用できる力を養う。		
5月	古典文法・漢文句形・古文解釈・古文単語	「知識・理解」 「ワークシート」 「小テスト」 「定期テスト」	12
	・必要に応じて教科書本文に即しながら、入試に向けての基礎力を養う。		
	・様々な古文や漢文にあたり、解釈の方法を身につける。 ・基本的な古典の知識を身につけ、知識を実際に利用できる力を養う。		
	中間考査・校外学習		
6月	古典文法・漢文句形・古文解釈・古文単語	「知識・理解」 「ワークシート」 「小テスト」	16
	・必要に応じて教科書本文に即しながら、入試に向けての基礎力を養う。		
	・様々な古文や漢文にあたり、解釈の方法を身につける。 ・基本的な古典の知識を身につけ、知識を実際に利用できる力を養う。		
7月	古典文法・漢文句形・古文解釈・古文単語	「知識・理解」 「ワークシート」 「小テスト」 「定期テスト」	8
	・必要に応じて教科書本文に即しながら、入試に向けての基礎力を養う。		
	・古典の基本的な知識の定着を目指し、夏季休業中に仕上げられるようにする。		
	終業式		
9月	入試問題の解法	「知識・理解」 「ワークシート」 「小テスト」	16
	・必要に応じて教科書本文に即しながら、入試に向けての実践力を養う。		
	・様々な古文や漢文にあたり、初見の文章に対して解釈できる力を養う。 ・基礎基本を振り返りながら、知識を活用して問題を解く力を養う。		
10月	入試問題の解法	「知識・理解」 「ワークシート」 「小テスト」 「定期テスト」	16
	・必要に応じて教科書本文に即しながら、入試に向けての実践力を養う。		
	・様々な古文や漢文にあたり、初見の文章に対して解釈できる力を養う。 ・基礎基本を振り返りながら、知識を活用して問題を解く力を養う。		
	中間考査		
11月	入試問題の解法	「知識・理解」 「ワークシート」 「小テスト」	16
	・必要に応じて教科書本文に即しながら、入試に向けての実践力を養う。		
	・様々な古文や漢文にあたり、初見の文章に対して解釈できる力を養う。 ・基礎基本を振り返りながら、知識を活用して問題を解く力を養う。		
12月	入試問題の解法	「知識・理解」 「ワークシート」 「小テスト」 「定期テスト」	8
	・必要に応じて教科書本文に即しながら、入試に向けての実践力を養う。		
	・入試に向けて、弱点補強しつつ、実践力を向上させる。		
	終業式		
1月	講習の実施		
2月			
3月	卒業式予行・卒業式		
	修了式		

府中高等学校 令和3年度 年間授業計画

教 科： 公民 科 目： 現代社会 単位数： 2単位
 対象学年組： 第3学年1組～7組
 教科担当者：
 使用教科書： (高校現代社会新訂版 実教出版)
 使用教材： (最新政治・経済資料集2019 第一学習社)

指導内容	科目の具体的な指導目標	評価の観点・方法	時数
	始業式・入学式・オリエンテーション		
4月	現代社会の諸課題、 現代の諸課題を探究 現代社会の諸課題、民主政治の基本原則と日本国憲法、現代経済のしくみと特質等について、社会的な事象から多面的に理解し考察する。 原則として毎時間の授業冒頭で実施。課題を見いだし、その課題の解決に向けて事実を基に考察、構想し、論拠を基に自分の考えを説明する。	定期考査、出席状況、授業参加状況などを総合して評価する。 プレゼンテーションを評価する。	6
5月	現代社会の諸課題、 現代の諸課題を探究 中間考査 現代社会の諸課題、民主政治の基本原則と日本国憲法、現代経済のしくみと特質等について、社会的な事象から多面的に理解し考察する。 原則として毎時間の授業冒頭で実施。課題を見いだし、その課題の解決に向けて事実を基に考察、構想し、論拠を基に自分の考えを説明する。 中間考査、解説、復習・ふりかえり	定期考査、出席状況、授業参加状況などを総合して評価する。 プレゼンテーションを評価する。	6
6月	現代社会の諸課題、 現代の諸課題を探究 現代社会の諸課題、現代の国際政治と日本、国民経済と国際経済等について、社会的な事象から多面的に理解し考察する。 原則として毎時間の授業冒頭で実施。課題を見いだし、その課題の解決に向けて事実を基に考察、構想し、論拠を基に自分の考えを説明する。	定期考査、出席状況、授業参加状況などを総合して評価する。 プレゼンテーションを評価する。	8
7月	現代社会の諸課題、 現代の諸課題を探究 期末考査 現代社会の諸課題、現代の国際政治と日本、国民経済と国際経済等について多面的に理解し考察する。 原則として毎時間の授業冒頭で実施。課題を見いだし、その課題の解決に向けて事実を基に考察、構想し、論拠を基に自分の考えを説明する。 期末考査、解説、復習・ふりかえり	定期考査、出席状況、授業参加状況などを総合して評価する。 プレゼンテーションを評価する。	4
8月			
9月	民主政治の基本原則 現代の諸課題を探究 大日本帝国憲法の制定過程とその特徴、日本国憲法の制定過程、日本国憲法の三大原理等について、主に歴史的な背景・意義に着目し、多面的に理解し考察する。 原則として毎時間の授業冒頭で実施。課題を見いだし、その課題の解決に向けて事実を基に考察、構想し、論拠を基に自分の考えを説明する。	定期考査、出席状況、授業参加状況などを総合して評価する。 プレゼンテーションを評価する。	8
10月	民主政治の基本原則 現代の諸課題を探究 中間考査 大日本帝国憲法の制定過程とその特徴、日本国憲法の制定過程、日本国憲法の三大原理等について、主に歴史的な背景・意義に着目し、多面的に理解し考察する。 原則として毎時間の授業冒頭で実施。課題を見いだし、その課題の解決に向けて事実を基に考察、構想し、論拠を基に自分の考えを説明する。 中間考査、解説、復習・ふりかえり	定期考査、出席状況、授業参加状況などを総合して評価する。 プレゼンテーションを評価する。	8
11月	平和主義と日本の安全保障 現代の諸課題を探究 日本の安全保障史、現在の安全保障の課題等について、主に歴史的な背景・意義や世界的情勢等に着目し、多面的に理解し考察する。 原則として毎時間の授業冒頭で実施。課題を見いだし、その課題の解決に向けて事実を基に考察、構想し、論拠を基に自分の考えを説明する。	定期考査、出席状況、授業参加状況などを総合して評価する。 プレゼンテーションを評価する。	8
12月	平和主義と日本の安全保障 現代の諸課題を探究 期末考査 日本の安全保障史、現在の安全保障の課題等について、主に歴史的な背景・意義や世界的情勢等に着目し、多面的に理解し考察する。 原則として毎時間の授業冒頭で実施。課題を見いだし、その課題の解決に向けて事実を基に考察、構想し、論拠を基に自分の考えを説明する。 期末考査、解説、復習・ふりかえり	定期考査、出席状況、授業参加状況などを総合して評価する。 プレゼンテーションを評価する。	4
1月	平和主義と日本の安全保障 現代の諸課題を探究 日本の安全保障史、現在の安全保障の課題等について、主に歴史的な背景・意義や世界的情勢等に着目し、多面的に理解し考察する。 原則として毎時間の授業冒頭で実施。課題を見いだし、その課題の解決に向けて事実を基に考察、構想し、論拠を基に自分の考えを説明する。	定期考査、出席状況、授業参加状況などを総合して評価する。 プレゼンテーションを評価する。	4
2月			
3月	学年末考査・卒業式予行・卒業式 修了式		

府中高等学校 令和3年度 年間授業計画

教科： 地歴 科目： 世界史B 単位数： 6単位
 対象学年組： 第3学年1組～7組必修選択
 教科担当者：
 使用教科書： (詳説 世界史B 山川出版社)
 使用教材： (歴史風景館 世界史のミュージアム どうほう)

	指導内容	科目世界史Bの具体的な指導目標	評価の観点	時数
4月	アジア諸地域の繁栄	ティムール朝、サファヴィー朝、オスマン帝国、ムガル帝国の歴史について理解させる。	【知】【関】	18
	大航海時代	ヨーロッパ人のアジア・新大陸進出と、世界の一体化の影響について理解させる。	【知】【技】	
	ルネサンス	ルネサンスの思想や、芸術作品について理解させる。	【知】【技】	
5月	宗教改革	ルターやカルヴァンの思想や、その影響について理解させる。	【知】【思】	18
	主権国家体制の形成	主権国家体制の形成や、スペインの歴史について理解させる。	【知】【関】	
	重商主義と啓蒙専制主義	イギリスの革命や、フランス絶対王政について理解させる。	【知】【関】	
	中間考査			
6月	重商主義と啓蒙専制主義	プロイセン、オーストリア、ロシアの歴史について理解させる。	【知】【思】	24
	ヨーロッパ諸国の海外進出、17～18世紀のヨーロッパ文化と社会	ヨーロッパ諸国のアジア・新大陸への進出や争いや、その影響について理解させる。	【知】【技】	
	産業革命、アメリカ独立	イギリス産業革命の歴史や、アメリカ独立革命の歴史について理解させる。	【知】【思】	
	フランス革命	フランス革命の背景、経緯、影響について理解させる。	【知】【技】	
7月	ナポレオン	ナポレオンの歴史を通じて革命の精神が広まったことや、ナポレオンの征服活動と失敗について理解させる。	【知】【関】	12
	近代国民国家の発展	ウィーン体制、七月革命の歴史を通じ、自由主義や社会主義の高揚について理解させる。	【知】【思】	
	期末考査			
	ヨーロッパの再編	二月革命を中心とする1848年の諸革命を通じ、国民主義や民族主義について理解させる。	【知】【関】	
8月	南北アメリカの発展	アメリカ合衆国の拡大や南北戦争に至る南北の対立について理解させる。	【知】【思】	
9月	19世紀のヨーロッパ文化、社会	19世紀の欧米の思想、文化について理解させる。	【知】【関】	24
	アジア諸地域の動向	オスマン帝国やムガル帝国の衰退や植民地化について理解させる。	【知】【技】	
	西アジア・中アジア	清など東アジア世界で起こった衰退や植民地化について理解させる。	【知】【思】	
	東アジア	帝国主義とはなにか、欧米諸国のアジア・アフリカ・太平洋への進出について理解させる。	【知】【関】	
10月	帝国主義	帝国主義によって進むアジア・アフリカ・太平洋地域の分割について理解させる。	【知】【思】	24
	①欧米諸国	世界分割によって生まれた列強の対立が、世界大戦に影響を与えるまでを理解させる。	【知】【関】	
	②世界分割	第一次世界大戦の歴史と、初の社会主義革命の勃発について理解させる。	【知】【技】	
	帝国主義	ヴェルサイユ体制の成立や戦間期の諸国の政策について理解させる。	【知】【思】	
11月	③列強対立			24
	二つの世界大戦	第一次世界大戦の歴史と、初の社会主義革命の勃発について理解させる。	【知】【技】	
	戦間期	ヴェルサイユ体制の成立や戦間期の諸国の政策について理解させる。	【知】【思】	
	中間考査			
12月	戦間期	大戦後のアジア各国の民族・独立運動や世界恐慌と世界に与えた影響の歴史について理解させる。	【知】【技】	12
	②民族運動、世界恐慌・ファシズム			
	第二次世界大戦	第二次世界大戦の勃発と経過について理解させる。	【知】【関】	
	戦後世界	国際連合の成立と、米ソ冷戦の開始について理解させる。	【知】【技】	
1月	①国際連合と冷戦体制	国際連合の成立と、米ソ冷戦の開始について理解させる。	【知】【技】	12
	②第三世界の台頭と平和共存、冷戦の終結	20世紀半ばの第三世界の台頭と冷戦への影響、またソ連崩壊後の世界について理解させる。	【知】【思】	
2月	総復習	大学受験を想定した問題演習を行い、学力を高める。	【知】【技】	
3月	総復習	大学受験を想定した問題演習を行い、学力を高める。	【知】【思】	

府中高等学校 令和3年度 年間授業計画

教 科： 公民 科 目： 政治・経済 単位数： 4単位
 対象学年組： 第3学年選択者
 教科担当者：
 使用教科書： (高校政治・経済新訂版 実教出版)
 使用教材： (最新政治・経済資料集2019 第一学習社)

指導内容	科目の具体的な指導目標	評価の観点・方法	時数
4月	始業式・入学式・オリエンテーション 経済社会の変容 経済社会の変容について多面的に理解し考察する。	単元ごとの小テスト、出席状況、提出物などを総合する。	6
5月	現代経済のしくみ 市場メカニズム、財政と金融等、現代経済のしくみについて多面的に理解し考察する。	単元ごとの小テスト、出席状況、提出物などを総合する。	6
6月	現代経済のしくみ 市場メカニズム、財政と金融等、現代経済のしくみについて多面的に理解し考察する。	単元ごとの小テスト、出席状況、提出物などを総合する。	8
7月	現代経済のしくみ 市場メカニズム、財政と金融等、現代経済のしくみについて多面的に理解し考察する。	単元ごとの小テスト、出席状況、提出物などを総合する。	4
8月			
9月	現代経済と福祉の向上 戦後日本経済史、労働、社会保障等、現代経済と福祉の向上について多面的に理解し考察する。	単元ごとの小テスト、出席状況、提出物などを総合する。	8
10月	現代経済と福祉の向上 戦後日本経済史、労働、社会保障等、現代経済と福祉の向上について多面的に理解し考察する。	単元ごとの小テスト、出席状況、提出物などを総合する。	8
11月	世界経済と日本 国際収支、貿易、地域的経済統合等、世界経済と日本について多面的に理解し考察する。	単元ごとの小テスト、出席状況、提出物などを総合する。	8
12月	世界経済と日本 国際収支、貿易、地域的経済統合等、世界経済と日本について多面的に理解し考察する。	単元ごとの小テスト、出席状況、提出物などを総合する。	4
1月	現代の政治、現代社会の諸課題 現代の政治、現代社会の諸課題について多面的に理解し考察する。	単元ごとの小テスト、出席状況、提出物などを総合する。	4
2月			
3月	学年末考査・卒業式予行・卒業式 修了式		

府中等高等学校 令和3年度 年間授業計画

教科:(地理) 科目:(地理B) 対象: 第(3)学年(必修選択)組 (4)単位

教科担当者:

使用教材 : (新詳細地理B、現代地図帳、新詳地理資料COMPLETE2014)

	指導内容	科目「 地理A 」の具体的な指導目標	評価の観点・方法	予定時数
4月	村落と都市	始業式・入学式・オリエンテーション	・【関心】 【知識】 作業プリント	12
		各国の位置と特徴を調べる。国名や首都名の由来から調べていく。		
		日本の都市について考察する。		
		世界の都市について考察する。		
5月	商業・観光業	世界の商業・観光業について考察する。	・【関心】 小テスト ・【技能】 作業プリント ・【知識】	12
		日本の商業・観光業について考察する。		
		日本の商業・観光業について考察する。		
		中間考査		
		世界の地形や気候が人びとの生活にどのように影響しているのかを考察する。		
6月	世界の気候・地形	世界の国の産業を調べながら、地形や気候を考察する。	・【関心】 小テスト ・【技能】 作業プリント ・【知識】	16
		世界の国の産業を調べながら、地形や気候を考察する。		
		世界の国の農業を調べながら、地形や気候を考察する。		
		世界の国の農業を調べながら、地形や気候を考察する。		
		世界の国の文化を調べながら、地形や気候を考察する。		
7月	地域調査	期末考査	・【関心】 ・【技】	8
		期末考査		
		終業式		
9月	世界の民族と宗教 東アジア	世界の人びとの多様な文化を知り、それぞれの文化を尊重する姿勢を身に付ける	・【関心】 小テスト ・【技能】 作業プリント ・【知識】	16
		東アジアの自然と生活文化の多様性と共通性を理解する。		
		東アジアの国々の生活・文化と環境を考察する。		
10月	東南アジア・南アジア	東南アジアの国々の生活・文化と環境を考察する。	定期考査	16
		モンスーンの人びとの生活に与える影響について考える。		
		南アジアの国々の生活・文化と環境を考察する。		
		中間考査		
11月	西アジア・アフリカ	西アジアの国々の生活・文化と環境を考察する。	・【関心】 小テスト ・【技能】 作業プリント ・【知識】	16
		乾燥地域の自然環境と人びとの暮らしについて、ムスリムの生活から特徴を知る。		
		アフリカの国々の生活・文化と環境を考察する。		
		アフリカの植民地時代を理解し、現在の文化を考察する。		
12月	ヨーロッパ	期末考査	・【関心】 小テスト ・【技能】 作業プリント ・【知識】	8
		期末考査 ヨーロッパの生活・文化と環境を考察する。		
		終業式		
1月	北アメリカ・南アメリカ	北アメリカの生活・文化と環境を考察する。	・【関心】 小テスト ・【技能】 作業プリント ・【知識】	8
		南アメリカの生活・文化と環境を考察する。		
2月				
3月				

府中高等学校 令和3年度 年間授業計画

教科: 地理 科目: 日本史B 対象: 第3学年1組 ~ 7組 必修選択 6単位

教科担当者:
 使用教科書: 詳説日本史B 山川出版社
 使用教材: 最新日本史図表 第一学習社 新詳説日本史史料集 実教出版

指導内容	科目「日本史B」の具体的な指導目標	評価の観点・方法	
	始業式・入学式・オリエンテーション		
4月	織豊政権	ヨーロッパ人の来航と、その背景となった大航海時代について理解させる。織田信長の統一事業について、その過程をとらえさせるとともに新たな政権樹立をめざした諸政策にも注目させる。豊臣秀吉の天下統一の過程を理解させる。豊臣政権の政治的特色や経済的基盤をとらえさせる。またその外交政策を通して、豊臣政権が短命に終わった理由を考えさせる。	【知】【思】
	桃山文化	桃山文化について、城郭建築や茶道の大成を軸とし、資料や図版をもとに理解させる。	【知】【関】
	幕藩体制の成立	徳川家康による幕府創設の過程をとらえさせる。幕藩体制について、その機構、経済基盤、宗教政策等を多面的に理解させる。江戸初期の外交について理解させ、なぜ鎖国に至ったのかを考えさせる。鎖国後の貿易、キリシタン禁制について理解させる。寛永期の文化について、資料や図版をもとにその特徴を理解させる。	【知】【思】
5月	幕藩社会の構造	幕藩社会を支えた身分制度をとらえ、江戸時代の社会の特徴を考えさせる。江戸時代の農村の生活を、村請制度や租税負担のしくみを通してとらえさせる。	【知】【思】
	幕政の安定	4代將軍家綱の治世に、文治政治から武断政治への転換がはかられたことを理解させ、その理由を考えさせる。元禄時代から正徳の治に至る文治政治の諸政策を、その背景とともに理解させる。	【知】【思】
	経済の発展	近世の経済発展について、当時の人々の生活に考えを致しながら、農業生産の進展、諸産業の発達、交通の発達、貨幣経済の発達などを多面的に理解させる。	【知】【関】
	元禄文化	元禄文化について、儒学をはじめとする学問の発展と、町人文芸の隆盛等の町人文化の発展を軸に、資料や図版を通して理解させる。	【知】【関】
	中間調査・校外学習		
	幕政の改革	享保の改革の諸政策と、その成果をとらえさせる。江戸中期の社会の変容と、これを背景として起こった一揆と打ちこわしを理解させる。田沼時代の諸政策について、その特徴を理解させる。	【知】【思】
6月	宝暦・天明期の文化	宝暦・天明期の文化について、浮世絵の隆盛などの町人文化に着目させ、資料や図版を活用して理解させる。	【知】【関】
	幕府の衰退と近代への道	寛政の改革の諸政策について、その背景を考えさせながら理解させる。異国船の接近と鎖国政策の動揺の過程をとらえさせる。文化文政時代の社会の変化をとらえさせ、天保の改革と結びつけて理解させる。江戸後期の経済の変化と、雄藩の台頭について理解させる。	【知】【関】
	化政文化	化政文化について、学問と教育、民衆文化の成熟を軸に、資料や図版を活用して理解させる。	【知】【関】
	開国と幕末の動乱	ペリー来航の意義を、その国際的背景をふまえつつ考えさせる。開国とその影響をとらえさせ、続いておこった尊王攘夷運動、討幕運動から明治維新に至る過程を理解させる。	【知】【思】
	期末調査		
7月	明治維新と富国強兵	新政府の成立過程を、戊辰戦争の経過とともにとらえさせる。廃藩置県による中央集権化の達成、四民平等政策、地租改正と殖産工業政策について理解させる。文明開化の文化と世相を、資料・図版を活用して理解させる。明治初期の対外関係と、その結果として政府の分裂し、士族反乱が西南戦争へとつながった経過をとらえさせる。	【知】【思】
	立憲国家の成立と日清戦争	自由民権運動について、背景を考えつつその経過を理解させる。憲法制定による立憲国家のしくみをとらえさせる。初期議会の対立についてその経過を理解させる。条約改正の経過を理解させる。朝鮮問題から日清戦争、下関条約と三国干渉について理解させるとともに、その背景となった当時の国際関係を考えさせる。	【知】【関】
		終業式	
8月			
9月	日露戦争と国際関係	日清戦争後の政局について理解させる。日露戦争の背景となった中国分割と、日英同盟に至った外交の経過をとらえさせる。日露戦争の経過と、戦後の国際関係（韓国併合と満州への進出）を関連させながら理解させる。日露戦争後の社会の変化について考えさせる。	【知】【思】
	近代産業の発展	日本の産業革命が、繊維産業をはじめとする軽工業に始まり、やがて重工業の形成へと発展した経過を理解させる。産業革命による社会の変化に着目させ、社会運動の発生とその影響をとらえさせる。	【知】【関】
	近代文化の発達	明治の文化について、思想と信教、教育、科学、ジャーナリズムと文学、芸術の各分野を、資料と図版を活用して理解させる。生活様式の近代化について理解させる。	【知】【関】
	第一次世界大戦と日本	第一次護憲運動と大正政変の経過を理解させる。第一次世界大戦の背景となった国際情勢を理解し、日本の参戦の意義を考えさせる。二十一条要求により日本の中国進出が始まったことを、中国情勢を背景として理解させる。大戦景気を背景として、米騒動から原敬内閣の登場にいたった経過をとらえさせる。	【知】【思】
	ワシントン体制	第一次世界大戦後のヴェルサイユ体制・ワシントン体制について理解し、そこに占めた日本の位地について考えさせる。大正デモクラシーの世相を背景に社会運動・普選運動が勃興したことを理解させる。第二次護憲運動から護憲三派内閣成立にいたる過程を理解させる。	【知】【関】
10月	市民生活の変容と大衆文化	第一次世界大戦後、都市化が進む中で生まれた新たな大衆文化について、資料と図版を活用して理解させる。	【知】【関】
	恐慌の時代	戦後恐慌に始まる経済危機を背景として、「憲政の常道」といわれた二大政党時代の外交政策、財政政策に着目しつつ、協調外交が挫折し戦争への道が開かれていったことを考えさせる。	【知】【思】
	軍部の台頭	中国情勢の変化を背景として、軍部の独走によって満州事変が引き起こされ、戦争の時代に入ったことを考えさせる。あいつぐテロリズムにより政党政治が崩壊し、国際連盟脱退により日本が孤立の道を選んだことをとらえさせる。二・二六事件によって軍国主義が確立されたことを理解させる。	【知】【思】
		中間調査	
	第二次世界大戦	日中戦争の開始と長期化が、太平洋戦争へとつながった経過を、当時の国際情勢を背景として理解させる。戦時下の思想統制と経済統制をとらえさせ、当時の人々の生活について考えさせる。第二次世界大戦の経過をたどり、日本の敗戦までの展開を、戦争の惨禍に思いを致しながら理解させる。	【知】【関】
11月	占領と改革	第二次世界大戦後の国際情勢を背景に、初期の占領政策について、非軍事化と民主化の諸政策を理解させる。政党政治の復活と日本国憲法の制定の過程をとらえさせる。敗戦直後の国民生活と政治の混乱について考えさせる。	【知】【関】
	冷戦の開始と講和	冷戦の開始とアジア情勢の変化を理解させ、なぜアメリカの占領政策が転換したのかを考えさせる。朝鮮戦争が日本に及ぼした政治的・経済的影響をとらえさせる。サンフランシスコ平和条約と日米安保条約について、史料を読み解きつつ理解させる。	【知】【思】
	55年体制	冷戦下の国際情勢を背景に、独立後から55年体制の成立にいたる政局の変化をとらえさせる。日ソ国交樹立と国際連合加盟、安保条約改定までの外交政策について理解させる。新安保条約の内容をとらえ、安保闘争がなぜおこったのかを考えさせる。	【知】【思】
	経済復興から高度成長へ	朝鮮特需による経済復興から、高度経済成長にいたった日本経済の変化を理解させる。高度経済成長による大衆消費社会の誕生と、そのひずみである公害問題などについて、多面的にとらえさせる。	【知】【関】
	経済大国への道	石油危機後も安定成長を続け、経済大国となった日本のあゆみを、日中国交正常化などの外交の動きと関連させながら理解させる。中曽根内閣時代の新自由主義的改革が、現代日本の政治につながっていることを考えさせる。	【知】【思】
	期末調査		
12月	冷戦の終結と日本社会の動揺	冷戦終結の経過を理解し、冷戦終結によっておこった東欧革命や湾岸戦争の意味を考えさせる。55年体制の崩壊とその後の政局をたどり、バブル崩壊後の平成不況について理解させる。大災害への対応や環境問題、情報社会の課題、防衛問題等、現代日本の諸課題を提起する。	【知】【思】
	演習	通史・テーマ史について、問題演習を行う。	【知】
	終業式		
1月	演習	通史・テーマ史について、問題演習を行う。	【知】
		学年末調査	
2月			
3月			

府中等学校 令和3年度 年間授業計画

教科:(数学) 科目:(数学Ⅲ) 対象:(第3学年選択者) 8単位

教科担当者:

使用教科書: 群説 数学Ⅲ-改訂版-啓林館

使用教材: アドバンスプラス 改訂版 数学Ⅲ

	指導内容	科目「数学Ⅲ」の具体的な指導目標	評価の観点方法	予定時数
4月	(1)指導方法の説明 (2)関数 (3)極限	(1)指導方法の説明 しっかりと説明を聞き、自主的に問題に取り組むこと。 (2)簡単な分数関数と無理関数及びそれらのグラフの特徴について理解する。 合成関数や逆関数の意味を理解し、簡単な場合についてそれらを求める。 (3)数列や関数値の極限の概念を理解し、それらを事象の考察に活用できるようにする。	[知] [見] [技] [関]	24
5月	(1)極限 (2)式と曲線	(1)数列や関数値の極限の概念を理解し、それらを事象の考察に活用できるようにする。 (2)平面上の曲線がいろいろな式で表されることについて理解し、それらを事象の考察に活用できるようにする。	[知] [見] [技] [関]	24
6月	(1)微分法	(1)関数の積及び商の導関数について理解し、関数の和、差、積及び商の導関数を求める。 合成関数の導関数について理解し、合成関数の導関数を求める。 三角関数、指数関数及び対数関数の導関数を求める。	[知] [見] [技] [関]	32
7月	(1)微分法 (2)微分法の応用	(1)関数の積及び商の導関数について理解し、関数の和、差、積及び商の導関数を求める。 合成関数の導関数について理解し、合成関数の導関数を求める。 三角関数、指数関数及び対数関数の導関数を求める。 (2)導関数を用いて、いろいろな曲線の接線の方程式を求めたり、いろいろな関数の値の増減、極大・極小、グラフの凹凸などを調べグラフの概形をかいたりする。 また、それらを事象の考察に活用する	[知] [見] [技] [関]	16
9月	(1)積分法とその応用	(1)積分法についての理解を深めるとともに、その有用性を認識し、事象の考察に活用できるようにする。	[知] [見] [技] [関]	32
10月	(1)複素数平面 (2)演習	(1)複素数平面について理解し、それらを事象の考察に活用できるようにする。 (2)さまざまなレベルの入試問題を解き、入試に必要な力を養う。	[知] [見] [技] [関]	32
11月	(1)演習	(1)さまざまなレベルの入試問題を解き、入試に必要な力を養う。	[知] [見] [技] [関]	32
12月	(1)演習	(1)さまざまなレベルの入試問題を解き、入試に必要な力を養う。		16
1月	(1)演習	(1)さまざまなレベルの入試問題を解き、入試に必要な力を養う。		16
2月				
3月				

府中高等学校 令和3年度 年間授業計画

教科:(数学) 科目:(数学 I) 対象: 第 3 学年 必修選択 4 単位

教科担当者:

使用教科書: (数学 I (東京書籍))

使用教材: (リンク 数学演習 I +A)

指導内容	科目「 数学 I 」の具体的な指導目標	評価の観点・方法	予定時数
4月 数と式	(春季休業)	知識・理解 興味・関心 意欲・態度	12
	整式の基本を整理し、計算力の向上をめざす。		
	乗法公式と因数分解の反復演習を行い、計算力の向上をめざす。		
	平方根、分母の有理化、二重根号の計算の習熟をはかる。		
5月 数と式 方程式 不等式	無理数の整数部分と小数部分、無理数と有理数に分ける計算力の向上をめざす。	知識・理解 興味・関心 意欲・態度 定期考査	12
	対称式・交代式の扱い、絶対値の扱いや場合分けの考え方の習得		
	素数問題、ユークリッド互除法、不定方程式等の問題解決力の向上をめざす。		
	1次不等式・2次不等式・連立不等式の解決力の向上をめざす。		
6月 方程式・不等式 2次関数	1学期中間考査	知識・理解 興味・関心 意欲・態度	16
	絶対値を含む方程式・不等式、3元1次連立方程式の解決力の向上をめざす。		
	他の解の求め方、解を持つ条件の判別方法の習熟をめざす。		
	平方完成、平行移動、対称移動、放物線の方程式の決定等問題解決力の向上をめざす。		
7月 三角比	定義域制限があるときの最大値・最小値の求値方法の習熟をめざす。	知識・理解 興味・関心 意欲・態度 定期考査	8
	2次方程式の解の特性、不等式と2次関数との関係を理解し応用力向上をめざす。		
	2次関数応用演習により問題解決力の向上をめざす。		
	1学期期末考査		
8月	三角比の求値、式の値、三角方程式の解決力の向上をめざす。		
	正弦定理・余弦定理の活用法の習熟をはかり、三角形の形状、面積、内接円半径、立体図形への応用力向上をめざす。		
	1学期終業式		
	(夏季休業)		
9月 データの分析 集合と論理 順列・組合せ	和積法則、隣接するものを含む順列、円順列、重複順列に関する問題解決力の向上をめざす。	知識・理解 興味・関心 意欲・態度	16
	分散と標準偏差の基本を整理し、計算力の向上をめざす。		
	相関係数を求め、その値から相関関係を判定する方法の習熟をめざす。		
	命題の真偽判定、逆・裏・対偶の述べ方、必要・十分条件に関する演習問題の習熟をめざす。		
10月 順列・組合せ 確率	対偶利用証明法、背理法の活用の習熟をめざす。	知識・理解 興味・関心 意欲・態度 定期考査	16
	同じものを含む順列、一定順序、図形と組合せに関する問題解決力の向上をめざす。		
	最短経路、図形と組合せ、組分けに関する問題解決力の向上をめざす。		
	二項定理、多項定理の応用問題の解決力向上をめざす。		
11月 確率 平面図形	2学期中間考査	知識・理解 興味・関心 意欲・態度	16
	独立な試行の確率、順列組合せの利用、余事象利用、排反事象の加法定理に関する問題解決力の向上をめざす。		
	反復試行の確率、標準から発展レベルまでの確率問題の解決力の向上をめざす。		
	確率タイプ別問題演習を反復し、計算力向上をめざす。		
12月 平面図形 総合問題演習	角の二等分線と辺の比に関する問題解決力の向上をめざす。	知識・理解 興味・関心 意欲・態度 定期考査	8
	三角形の外心・内心・重心、チェバ・メネラウスの定理等に関する問題解決力の向上をめざす。		
	2学期期末考査		
	円と四角形、接線、方べきの定理に関する問題解決力の向上をめざす。		
1月 総合問題演習	タイプ別問題の反復演習を行い、総合問題の解決力向上をめざす。	知識・理解 興味・関心 意欲・態度	8
	上級学校入試過去問題演習を通して解決力向上をめざす。		
	2学期終業式		
	(冬季休業)		
2月	(冬季休業)		
	上級学校入試過去問題演習を通して解決力向上をめざす。		
	上級学校入試過去問題演習を通して解決力向上をめざす。		
3月	卒業式予行・卒業式		

府中高等学校 令和3年度 年間授業計画

教科: (数学) 科目: (必修選択数学ⅡB) 対象: (第3学年 1組 ~ 7組) 6単位

教科担当者:

使用教科書: (高等学校 数学ⅠⅡAB[東京書籍])

使用教材: (メジアン数学演習Ⅰ・Ⅱ・A・B[数研出版])

指導内容	科目「数学ⅠⅡAB」の具体的な指導目標	評価の観点・方法	予定時数
4月 数と式 §2次関数 関数とグラフ 最大・最小 2次方程式の理論	始業式・入学式・オリエンテーション	〔知〕〔見〕 〔技〕〔関〕	18
	<ul style="list-style-type: none"> 恒等式の理解、方程式の解法ができる。 ・$ax^2+bx+c=a(x-p)^2+q$の形に変形できる。 ・平方完成を利用して2次関数のグラフの軸と頂点を調べ、グラフをかきことができる。 ・グラフの平行移動が、x軸方向、y軸方向の用語を用いて表現できる。 ・一般の2次関数$y=ax^2+bx+c$のグラフについて、軸、頂点の式を考察しようとする ・$y=a(x-p)^2+q$の形にして、最大値、最小値を求めることができる。 ・2次関数の定義域に制限がある場合に、最大値、最小値が求められる。 ・2次方程式の解き方として、因数分解利用、解の公式利用を理解し、利用できる。 ・2次方程式の解の考察において、判別式$D=b^2-4ac$の符号と実数解の関係を理解し、利用することができる。 		
5月 2次方程式の理論 方程式・不等式	<ul style="list-style-type: none"> ・関数のグラフとx軸の共有点の座標、x軸の共有点の個数が求められることができる。 ・不等式を解くことができる。 ・不等式を利用する応用問題を解くことができる。 	〔知〕〔見〕 〔技〕	18
	中間考査・校外学習		
§場合の数・確率 順列・組合せ	<ul style="list-style-type: none"> ・順列・組合せの意味を理解し求められるようにする。 		
6月 確率 §三角比、三角関数 三角比 三角関数	<ul style="list-style-type: none"> ・確率の基本事項を理解し、利用できる。 ・独立試行、反復試行、条件付き確率についての理解を深める。 ・三角関数の値を求め、三角関数の性質を知る。 ・三角関数を含む方程式・不等式を解く際に単位円やグラフを図示して考察する。 ・図形の性質と三角比を利用して、応用問題を解く。 	〔知〕〔見〕 〔技〕〔関〕	24
	期末考査		
7月 §ベクトル ベクトルの基本 平面ベクトル	<ul style="list-style-type: none"> ・ベクトルの基本事項を周知し、利用できるようにする。 ・位置ベクトルの理解を深め、平面においてベクトルの利用ができる。 	〔知〕〔見〕 〔技〕〔関〕	12
	終業式		
8月			
9月 §ベクトル 平面ベクトル 空間ベクトル §三角関数 三角関数 §指数関数、対数関数	<ul style="list-style-type: none"> ・平面において、ベクトルを利用し様々な値を求める。 ・空間において、ベクトルを利用し様々な値を求める。 ・三角関数の値を求め、三角関数の性質を知る。 ・三角関数を含む方程式・不等式を解く際に単位円やグラフを図示して考察する。 ・指数関数、対数関数の値を求め、性質を理解する。 	〔知〕〔見〕 〔技〕〔関〕	24
	<ul style="list-style-type: none"> ・接線の方程式を求める。 ・導関数を利用して、関数の極値を求めたり、グラフをかき、関数の最大値・最小値を求めることができる。 		
10月 §微分法・積分法 微積分の応用	<ul style="list-style-type: none"> ・不定積分、定積分の意味を理解し、それを利用する。 ・直線や曲線で囲まれた部分の面積を、定積分で表して求めることができる。 ・微分法、積分法を利用して種々の問題の応用法を学ぶ 	〔知〕〔見〕 〔技〕〔関〕	24
	中間考査		
§数列 等差・等比	<ul style="list-style-type: none"> ・等差、等比数列の一般項を理解し利用できる。 		
11月 §数列 いろいろな数列 漸化式	<ul style="list-style-type: none"> ・記号Σの意味と性質を理解し、数列の和が求められるようにする。 ・階差・フィボナッチ数列を理解し、一般項が求められるようにする。 ・数列の和S_nと第n項a_nの関係を理解し、数列の一般項が求められるようにする。 ・漸化式の意味を理解し、漸化式を適切に変形して、その数列の特徴を考察することができるようにする。 ・数列の入試問題演習。 	〔知〕〔見〕 〔技〕〔関〕	24
	入試問題演習		
12月 入試問題演習	<ul style="list-style-type: none"> ・センター試験の演習。 ・数学ⅠⅡABの総合問題演習。 	〔知〕〔技〕	12
	終業式		
1月 入試問題演習	<ul style="list-style-type: none"> ・センター試験の演習。 ・数学ⅠⅡABの総合演習。 	〔知〕〔技〕	8
	<ul style="list-style-type: none"> ・私大、2次対策問題演習。 		
2月	授業なし		
3月 入試問題演習	卒業式予行・卒業式		
	授業なし		

府中高等学校 令和3年度 年間授業計画

教科：理科 科目：化学基礎 単位数：2単位

対象学年組：第3学年選択

教科担当者：

使用教科書：(化学基礎(密林館))

使用教材：(つかむセンター化学基礎(浜島書店)、ニューステージ新化学図表(浜島書店))

	指導内容	化学基礎の具体的な指導目標	評価の観点・方法	時数
4月	1 化学と人間生活 2 物質とその分類 3 熱運動と物質の三態 4 原子の構造と周期表 5 化学結合 (1) 6 化学結合 (2) 7 物質質量 8 溶液の濃度 9 化学反応式と量的関係 10 酸と塩基、中和 11 中和滴定 12 酸化・還元 (1) 13 酸化・還元 (2)	始業式・入学式・オリエンテーション 問題演習授業。 さまざまなレベルの入試問題を解き、入試に必要な力を養う。 問題演習授業。 さまざまなレベルの入試問題を解き、入試に必要な力を養う。 問題演習授業。 さまざまなレベルの入試問題を解き、入試に必要な力を養う。 問題演習授業。 さまざまなレベルの入試問題を解き、入試に必要な力を養う。	関心・意欲・態度、思考・判断、観察・実験の技能・表現、知識・理解 授業への取り組み、ノート、実験レポート	6
5月	1 化学と人間生活 2 物質とその分類 3 熱運動と物質の三態 4 原子の構造と周期表 5 化学結合 (1) 6 化学結合 (2) 7 物質質量 8 溶液の濃度 9 化学反応式と量的関係 10 酸と塩基、中和 11 中和滴定 12 酸化・還元 (1) 13 酸化・還元 (2)	問題演習授業。 さまざまなレベルの入試問題を解き、入試に必要な力を養う。 問題演習授業。 さまざまなレベルの入試問題を解き、入試に必要な力を養う。 問題演習授業。 さまざまなレベルの入試問題を解き、入試に必要な力を養う。 中間調査・校外学習 問題演習授業。 さまざまなレベルの入試問題を解き、入試に必要な力を養う。	関心・意欲・態度、思考・判断、観察・実験の技能・表現、知識・理解 授業への取り組み、ノート、実験レポート	6
6月	1 化学と人間生活 2 物質とその分類 3 熱運動と物質の三態 4 原子の構造と周期表 5 化学結合 (1) 6 化学結合 (2) 7 物質質量 8 溶液の濃度 9 化学反応式と量的関係 10 酸と塩基、中和 11 中和滴定 12 酸化・還元 (1) 13 酸化・還元 (2)	問題演習授業。 さまざまなレベルの入試問題を解き、入試に必要な力を養う。 問題演習授業。 さまざまなレベルの入試問題を解き、入試に必要な力を養う。 問題演習授業。 さまざまなレベルの入試問題を解き、入試に必要な力を養う。 問題演習授業。 さまざまなレベルの入試問題を解き、入試に必要な力を養う。	関心・意欲・態度、思考・判断、観察・実験の技能・表現、知識・理解 授業への取り組み、ノート、実験レポート	8
7月	1 化学と人間生活 2 物質とその分類 3 熱運動と物質の三態 4 原子の構造と周期表 5 化学結合 (1) 6 化学結合 (2) 7 物質質量 8 溶液の濃度 9 化学反応式と量的関係 10 酸と塩基、中和 11 中和滴定 12 酸化・還元 (1) 13 酸化・還元 (2)	期末考査 問題演習授業。 さまざまなレベルの入試問題を解き、入試に必要な力を養う。 問題演習授業。 さまざまなレベルの入試問題を解き、入試に必要な力を養う。 終業式	関心・意欲・態度、思考・判断、観察・実験の技能・表現、知識・理解 授業への取り組み、ノート、実験レポート	4
8月				
9月	1 化学と人間生活 2 物質とその分類 3 熱運動と物質の三態 4 原子の構造と周期表 5 化学結合 (1) 6 化学結合 (2) 7 物質質量 8 溶液の濃度 9 化学反応式と量的関係 10 酸と塩基、中和 11 中和滴定 12 酸化・還元 (1) 13 酸化・還元 (2)	始業式 問題演習授業。 さまざまなレベルの入試問題を解き、入試に必要な力を養う。 問題演習授業。 さまざまなレベルの入試問題を解き、入試に必要な力を養う。 問題演習授業。 さまざまなレベルの入試問題を解き、入試に必要な力を養う。	関心・意欲・態度、思考・判断、観察・実験の技能・表現、知識・理解 授業への取り組み、ノート、実験レポート	8
10月	1 化学と人間生活 2 物質とその分類 3 熱運動と物質の三態 4 原子の構造と周期表 5 化学結合 (1) 6 化学結合 (2) 7 物質質量 8 溶液の濃度 9 化学反応式と量的関係 10 酸と塩基、中和 11 中和滴定 12 酸化・還元 (1) 13 酸化・還元 (2)	問題演習授業。 さまざまなレベルの入試問題を解き、入試に必要な力を養う。 問題演習授業。 さまざまなレベルの入試問題を解き、入試に必要な力を養う。 問題演習授業。 さまざまなレベルの入試問題を解き、入試に必要な力を養う。 中間調査 問題演習授業。 さまざまなレベルの入試問題を解き、入試に必要な力を養う。	関心・意欲・態度、思考・判断、観察・実験の技能・表現、知識・理解 授業への取り組み、ノート、実験レポート	8
11月	1 化学と人間生活 2 物質とその分類 3 熱運動と物質の三態 4 原子の構造と周期表 5 化学結合 (1) 6 化学結合 (2) 7 物質質量 8 溶液の濃度 9 化学反応式と量的関係 10 酸と塩基、中和 11 中和滴定 12 酸化・還元 (1) 13 酸化・還元 (2)	問題演習授業。 さまざまなレベルの入試問題を解き、入試に必要な力を養う。 問題演習授業。 さまざまなレベルの入試問題を解き、入試に必要な力を養う。 問題演習授業。 さまざまなレベルの入試問題を解き、入試に必要な力を養う。 問題演習授業。 さまざまなレベルの入試問題を解き、入試に必要な力を養う。	関心・意欲・態度、思考・判断、観察・実験の技能・表現、知識・理解 授業への取り組み、ノート、実験レポート	8
12月	1 化学と人間生活 2 物質とその分類 3 熱運動と物質の三態 4 原子の構造と周期表 5 化学結合 (1) 6 化学結合 (2) 7 物質質量 8 溶液の濃度 9 化学反応式と量的関係 10 酸と塩基、中和 11 中和滴定 12 酸化・還元 (1) 13 酸化・還元 (2)	期末考査 問題演習授業。 さまざまなレベルの入試問題を解き、入試に必要な力を養う。 問題演習授業。 さまざまなレベルの入試問題を解き、入試に必要な力を養う。 終業式	関心・意欲・態度、思考・判断、観察・実験の技能・表現、知識・理解 授業への取り組み、ノート、実験レポート	4
1月	1 化学と人間生活 2 物質とその分類 3 熱運動と物質の三態 4 原子の構造と周期表 5 化学結合 (1) 6 化学結合 (2) 7 物質質量 8 溶液の濃度 9 化学反応式と量的関係 10 酸と塩基、中和 11 中和滴定 12 酸化・還元 (1) 13 酸化・還元 (2)	始業式 問題演習授業。 さまざまなレベルの入試問題を解き、入試に必要な力を養う。 問題演習授業。 さまざまなレベルの入試問題を解き、入試に必要な力を養う。	関心・意欲・態度、思考・判断、観察・実験の技能・表現、知識・理解 授業への取り組み、ノート、実験レポート	4
2月				
3月		学年末考査・卒業式予行・卒業式 修了式		

府中高等学校 令和3年度 年間授業計画

教科:(理科) 科目:(生物) 対象:(第3学年 必修選択者) 4単位

教科担当者:

使用教科書:(改訂版生物(数研出版))

使用教材:(三訂版 フォトサイエンス生物図録(数研出版)、六訂版リードα生物基礎+生物(数研出版))

指導内容	科目「生物」の具体的な指導目標	評価の観点・方法	予定時数	
	始業式・入学式・オリエンテーション	関心・意欲・態度、思考・判断、観察・実験の技能・表現、知識・理解		
4月	1細胞と分子 ・生物物質と細胞 ・細胞膜を介した物質の移動 観察 植物細胞と浸透	・生物を構成する主要な物質である、水・タンパク質・脂質・炭水化物・核酸の性質を理解する。 ・ミトコンドリア、葉緑体、リボソーム、小胞体、ゴルジ体、リソソーム、細胞骨格、中心体、細胞壁、液胞の構造と働きについて理解する。 ・膜を介した輸送には受動輸送と能動輸送があることを理解する。 ・チャネルや輸送体による受動輸送のしくみを理解する。 ・動物細胞における水の浸透現象、植物細胞における水の浸透現象を理解する。 ・ナトリウムポンプを例に、ポンプによる能動輸送について理解する。	関心・意欲・態度、思考・判断、観察・実験の技能・表現、知識・理解 授業への取り組み、ノート、実験レポート	12
5月	・生命現象とタンパク質 実験 カタラーゼの働き 2代謝 ・代謝とエネルギー代謝 ・同化 実験 緑藻に含まれる	・タンパク質の一次構造、二次構造、三次構造、四次構造について理解する。 ・タンパク質の立体構造の多様性と働きの多様性を理解する。 ・酵素の基本的な性質である、基質特異性、最適温度、最適pHについて理解する。 ・代謝には同化と異化があることを確認する。 ・代謝にはエネルギーの出入りが伴うことを理解する。 中間考査 中間考査・校外学習	関心・意欲・態度、思考・判断、観察・実験の技能・表現、知識・理解 授業への取り組み、ノート、実験レポート 定期考査	12
6月	・窒素同化 観察 根粒菌の観察 ・異化 実験 アルコール発酵 3遺伝情報の発現 ・細胞のDNAとRNAの分布 ・ラクトースオペロンにおける遺伝子の発現調節	・植物の窒素同化の反応過程を理解する。 ・動物の窒素同化について理解する。・脱窒について理解する。 ・アルコール発酵と乳酸発酵、解糖の反応について理解する。・ミトコンドリアの構造と呼吸の反応が起こる場所について理解する。 ・解糖系、クエン酸回路、電子伝達系の反応過程について理解する。・DNAポリメラーゼの特徴や半保存的複製のしくみを理解する。・転写の過程やスプライシングについて確認する。 ・翻訳の過程について理解する。・原核生物の転写・翻訳の過程について理解する。・遺伝子突然変異の置換、欠失、挿入について学習し、その具体例としてかま状赤血球症について理解する。・一塩基多型について学習し、どのように応用されているか確認する。 ・調節遺伝子が他の調節遺伝子の発現を調節することによって連鎖的にさまざまな遺伝子が発現し、細胞が分化することを理解する。 ・原核生物のオペロンの構造とその調節について理解する。	関心・意欲・態度、思考・判断、観察・実験の技能・表現、知識・理解 授業への取り組み、ノート、実験レポート	16
7月	・バイオテクノロジー ・制限酵素による切断と電気泳動 ・PCR法について 4有性生殖 ・減数分裂と受精 ・遺伝と染色体	期末考査 期末考査 ・制限酵素やDNAリガーゼを用いた遺伝子組み換えの方法について理解する。 ・バイオテクノロジーの課題について理解する。・PCR法の原理を理解する。・無性生殖と有性生殖の特徴について理解する。 ・減数分裂の過程について理解する。・減数分裂におけるDNA量の変化について理解する。・遺伝子の連鎖は完全ではなく、組換えが起こることを理解する。 ・組換え価の計算方法を理解する。 終業式	関心・意欲・態度、思考・判断、観察・実験の技能・表現、知識・理解 授業への取り組み、ノート、実験レポート 定期考査	8
9月	5動物の発生 ・初期発生の過程 ・細胞の分化と形態形成 ・器官形成と細胞の死 探求活動 ウニの発生	・精子と卵の構造を理解する。 ・始原生殖細胞から精子や卵が形成される過程を理解する。 ・ウニにおいて、受精卵からブルテウス幼生になるまでの発生過程を理解する。 ・カエルにおいて、受精卵から神経胚になるまでの発生過程を理解する。 ・カエルの尾芽胚の各胚葉から分化する器官について理解する。 ・中胚葉誘導や神経誘導のしくみやこれらに関する物質について理解する。 ・局所生体染色法や原口背脊の移植実験など、胚の予定運命や誘導現象を解明した研究について理解する。 ・発生段階において、プログラム細胞死が起こることによって形成される器官があることを理解する。 ・ガードンの実験やクローンヒツジの実験から細胞の全能性について理解する。 ・ウニを例に、受精の過程や多精拒否について理解する。	関心・意欲・態度、思考・判断、観察・実験の技能・表現、知識・理解 授業への取り組み、ノート、実験レポート	16
10月	6植物の発生 ・配偶子形成と胚発生 探求活動 花粉の発芽と花粉管の伸長第7植物の環境応答 ・植物の環境応答と植物ホルモン ・植物の環境応答とそのしくみ	・被子植物の配偶子形成と重複受精について理解する。 ・花の形成における遺伝子発現のABCモデルについて理解する。 ・花粉の発芽と花粉管の伸長の挙動について理解する。 ・オーキシンと光屈性、オーキシンの極性移動について理解する。 ・植物細胞の伸長成長と植物ホルモンの作用について理解する。 中間考査 ・気孔の開閉と乾燥に対する応答について確認する。 ・フロリゲンの働きについて理解する。・光発芽のしくみを理解する。	関心・意欲・態度、思考・判断、観察・実験の技能・表現、知識・理解 授業への取り組み、ノート、実験レポート 定期考査	16
11月	・刺激の受容と反応 ・動物の行動 探求活動 神経伝達物質の働き 9個体群と生物群集 ・個体群 ・生物群集 10生態系 ・生態系の物質生産 ・生態系と生物多様性 11生物の進化 ・進化のしくみ	・全か無かの法則について理解する。・聴覚器の構造と聴覚の生じるしくみを理解する。 ・眼の構造と視細胞による光の吸収について理解する。・生得的行動を引き起こすかき刺激について理解する。 ・ヒトの脳の構造と各部の働きについて確認する。 ・脊髄の構造と働きについて理解する。 ・植物や動物の個体群における密度効果について理解する。・個体群の年齢ピラミッドや生存曲線について理解する。 ・ニッチの考え方を理解する。・ニッチをめぐる競争によって形質置換が起こることを理解する。 ・生態系における生産者と消費者の物質生産と消費について理解する。 ・生物多様性には、生態系・種・遺伝子の3つのとらえ方があることを理解する。 ・突然変異には、遺伝子突然変異と染色体突然変異があることを理解する。・ハーディー・ワインベルグの法則について理解する。 ・進化論の変遷について確認する。	関心・意欲・態度、思考・判断、観察・実験の技能・表現、知識・理解 授業への取り組み、ノート、実験レポート	16
12月	・生物の起源と生物の変遷第12生物の系統 ・生物の分類の変遷と系統 ・生物の系統関係 入試問題演習	期末考査 期末考査 ・さまざまな進化の証拠について理解する。・原始地球の環境と化学進化について理解する。 ・熱水噴出孔のような場所で生命が誕生した可能性があることを理解する。・植物の陸上進出と環境への適応について理解する。 ・生物の系統と系統樹について確認する。・真核生物ドメインに含まれる、原生生物界、植物界、菌界、動物界の特徴や系統関係を理解する。 ・モネラ界、原生生物界、植物界、菌界、動物界に属する生物の特徴を理解する。・入試問題を解くことにより、実践力を身につけていく。 終業式	関心・意欲・態度、思考・判断、観察・実験の技能・表現、知識・理解 授業への取り組み、ノート、実験レポート 定期考査	8
1月	・入試問題演習	・入試問題を解くことにより、実践力を身につけていく。 ・入試問題を解くことにより、実践力を身につけていく。 ・入試問題を解くことにより、実践力を身につけていく。	関心・意欲・態度、思考・判断、観察・実験の技能・表現、知識・理解 授業への取り組み、ノート、実験レポート	8
2月				
3月		卒業式予行・卒業式 終了式		

府中高等学校 令和3年度 年間授業計画

教科:(理科) 科目:(生物基礎) 対象:(第3学年 自由選択者) 2単位

教科担当者:

使用教科書:(生物基礎(数研出版))

使用教材:(改訂版生物図録(数研出版)、改訂リードα生物基礎(数研出版))

	指導内容	科目「生物基礎」の具体的な指導目標	評価の観点・方法	予定 時数
4月		始業式・入学式・オリエンテーション		
	・生物の多様性と共通性 細胞の種類 細胞の構造としくみ 細胞とエネルギー エネルギーと代謝 ATPの構造とはたらき 光合成のしくみ 呼吸のしくみ 代謝のしくみのまとめ	・細胞は原核細胞と真核細胞からなり、それぞれ特徴と働きがあることを理解できる。 ・原核細胞と真核細胞の構造の違いについて学び、細胞の進化とを関連づける。 ・1つ1つの細胞内で様々な化学反応が日々生体内で起こっていることを知る。 ・ATPが生命活動のエネルギー物質として広く利用されている利点を理解する。 ・ATPの構造とエネルギーを貯めこんだり放出したりする仕組みについて理解する。 ・光合成が行われることによって有機物が合成されるという仕組みを理解する。	・細胞の構造や特徴を様々な生物と照らし合わせて理解できたか。 ・レポートや小テストで進捗の確認	6
5月	実験・観察	・酸素を利用する呼吸(好気呼吸)と酸素を利用しない呼吸(嫌気呼吸)の違いと仕組みについて理解する。 ・好気呼吸はミトコンドリアで行われ、有機物が分解されることでエネルギーを取り出すことを理解する。 ・顕微鏡の使用法や注意点、観察の手順について理解する。 中間考査	・代謝の仕組みについて、その手順を理解できたか。 ・レポートや小テストで進捗の確認 ・定期考査	6
	・遺伝現象と遺伝子 遺伝子としての特徴	中間考査・校外学習 ・遺伝子の発見や、遺伝子の特徴について理解する。 ・DNAの塩基配列の一部が遺伝情報になることを理解する。		
6月	DNAの構造とはたらき ・遺伝情報の複製と分配 細胞周期とその長さ 遺伝情報の複製 遺伝情報の分配 ・遺伝情報とタンパク質合成 タンパク質の構造 転写と翻訳 ゲノム	・ヌクレオチドの構造とDNAの塩基の相補性が複製や遺伝情報転写にどう利用されているかを理解する。 ・DNAを発見し、構造を解明した人物について学ぶ。 ・分裂を繰り返す体細胞では、体細胞分裂の周期と分裂期が交互に繰り返され、間期にDNAの複製が行われることを知る。 ・染色体の緻密な構造とその挙動を理解する。 ・細胞が分裂する過程に、核内の遺伝情報が完璧に複製され、分配される必要がある。細胞分裂時に染色体が分離することで、DNAが垂直的に娘細胞に分配され、形質の遺伝が継続することを理解する。 ・タンパク質はアミノ酸が決められた配列に並んで立体構造をとったものであることを理解する。 ・熱に弱く、変性が起こるとそのはたらきを失うことを理解する。 ・DNAの遺伝情報をもとにどのようにして決められたタンパク質が合成されるか、その過程を学ぶ。 ・生物は、染色体内にある全ての配列(ゲノム)の情報から構成されている。生物にゲノムの違いがあり、また個体間でも差があることを学ぶ。	・遺伝子は生物を構成する大切な情報であり、それを元にタンパク質などの高分子を作ることができるということを理解できたか。 ・レポートや小テストで進捗の確認	8
	・体液とそのはたらき	期末考査 ・生体内の環境を一定に保とうとする働き(恒常性)の仕組みについて学ぶ。 ・恒常性の大切さを、例をあげて考えてみる。 終業式	・恒常性が行われる働きの1つとして、体液が体内に循環していることが大切であることを理解したか。 ・定期考査	4
8月				
9月	・体液とその働き(続き) 体液の種類 血液のはたらき 血液の凝固 血液の循環 肝臓の構造とはたらき 体液の濃度調節 (無脊椎動物、魚類)	・体液は血液、リンパ液、組織液の3種からなり、それぞれ関わりありながら生体内の恒常性に関わっていることを学ぶ。 ・体液のひとつである血液のはたらきと、その中に含まれる有形成分の特徴について学ぶ。 ・酸素を運搬、供給は体内の場所によってははたらきが異なる。酸素解離曲線を読み取り、その意味を理解する。 ・血液の凝固の仕組みについて、怪我をしたときを例に挙げその過程を知る。 ・心臓によって血液の循環がなされ、血液の通り道となる動脈と静脈、毛細血管の違いについて学ぶ。 ・肝臓の様々な特徴とはたらきを体内環境の維持と関連させて学ぶ。 ・生物は生体内の体液濃度を調節することで、恒常性をより円滑に保つことができるよう工夫している。無脊椎動物と魚類の濃度調節方法を学ぶ。	・恒常性が働くには、体液の存在に加え肝臓や腎臓で体内環境を維持していることが理解出来たか。 ・レポートや小テストで進捗の確認	8
	腎臓の構造とはたらき(哺乳類) 哺乳類の体液の濃度調節 ・生体防御 免疫の種類 自然免疫	・殆どの生物は体液濃度の調節を腎臓で行っている。 特に、哺乳類の腎臓の構造とはたらきについて学ぶ。 ・哺乳類の体液の濃度調節について尿の生成と濃縮率について例を挙げ、詳細に説明し、理解させる。 ・自然免疫と獲得免疫の特性の違いと進化を関連づけて説明できる。 中間考査 ・自然免疫は、マクロファージの食作用によって即座に対応し、抗原を排除していることを理解する。	・免疫の種類と働き方の違いについて理解できたか。 ・レポートや小テストで進捗の確認 ・定期考査	8
11月	獲得免疫 免疫による身近な疾患 免疫と医療 ・体内環境の維持のしくみ 自律神経系の構造とはたらき ホルモンの発見 様々な分泌腺とホルモン血糖量の調節 体温の調節	・抗原抗体反応は特異的であることを理解する。 ・獲得免疫は体液性免疫と細胞性免疫の2種類がある。それぞれのはたらきの違いについて学ぶ。 ・免疫が過剰反応による疾患や、白血球がウイルスに感染することで引き起こされる疾患がある。アレルギーやエイズなどの疾患が起こる原因と生体内で起こる現象について理解する。 ・自律神経(交感神経、副交感神経)が拮抗的にはたらきで生体内の環境を維持している。神経系の分布とそれぞれの神経がはたらきで起こる生体の現象について学ぶ。 ・体内で分泌されるホルモンの種類とのはたらきについて学ぶ。 ・自律神経系とホルモンがはたらきで血糖量の調節や体温の調節などがなされている。詳しいはたらきやフィードバックについて学ぶ。	・ホルモンは必ず標的器官があり、それぞれ細かな働きがなされていることを理解できたか。 ・ホルモン調節の例として、血糖量の調節や体温の調節について理解できたか。 ・レポートや小テストで進捗の確認	8
	・生物の多様性とバイオーム 気候とバイオーム 植生の成り立ち 様々な植生 植生の遷移 世界のバイオーム 日本のバイオーム	・バイオーム(生物群系)についての特徴を学ぶ。 ・環境要因の例をあげ、その変化が植物が生育するのにおよぼす影響を理解する。 ・植物は地域や季節の変動によってその景観(相観)が変わる。さらに、その植生に含まれる植物にどのようなものが含まれるか理解する。 期末考査・期末考査 ・植生(森林、草原、荒原)の違いや分布する植物について学ぶ。 ・森林の階層構造を例に挙げ、具体的な植物の種類について知る。 ・遷移のモデル的過程を具体的な種名とともに理解する。 ・土壌形成などの生物の環境形成作用が遷移と深く関係していることを理解する。 ・世界は年間降水量と年平均気温によってバイオームが異なることを理解する。また、それぞれのバイオームにいる植物の具体例も紹介する。 ・日本では、降水量は十分にあるため、極相は森林となる。 終業式	・バイオームについて理解したか。 ・定期考査 ・森林になる過程や、森林の種類を理解できたか。 ・日本のバイオームが理解できたか。	4
1月	・生態系 生態系の成り立ち 生体内の物質循環とエネルギーの流れ ・生態系のバランスと保全 生態系のバランス 人間活動による生態系への影響 ・生態系の保全	・緯度で分類する水平分布と標高で分類する垂直分布によってバイオームが変化することを理解する。 ・生態系は生物のみで成り立っているのではなく、非生物的環境(空気、光、水など)が作用することによって成り立つことを理解させる。そして、生態系の中に生物の食物連鎖も成り立っていることを説明する。 ・生態系では、光合成・呼吸・食物連鎖・有機物の分解作用などの生命活動によって炭素や窒素が循環し、再利用されていることを理解する。 ・全世界で、人為的な作用によって様々な環境の変化が懸念されている。ここでは、酸性雨・地球温暖化・水質汚染・生物濃縮・外来生物について簡潔に説明し、環境の保全について理解を深める。 ・生態系を維持するために、自然環境の保全が行われている。具体的な取り組みについてや、各国と結んだ条約などについて今後の環境のあり方を考える。	・生態系は生物と非生物的環境の双方がないと成り立たないことを理解したか。 ・生態系のバランスが崩れてしまうと、どのような影響が生物に表れるか理解できたか。 ・レポートや小テストで進捗の確認	2
2月				
3月		卒業式予行・卒業式		
		修了式		

府中高等学校 令和3年度 年間授業計画

教科:(理科) 科目:(地学基礎) 対象:(第3学年 1組 ~ 7組 選択) 2単位

教科担当者: (地学基礎 改訂版;啓林館)

使用教科書: (地学基礎 改訂版;啓林館)

使用教材 : (地学図表;浜島書店)

指導内容		科目「 地学基礎 」の具体的な指導目標		評価の観点・方法	予定時数
4月	第2部 移り変わる地球	始業式・入学式・オリエンテーション		授業への取り組み 実習レポート 「興味・関心」	6
		ガイダンス			
		地球史年表の作成			
		野外実習① 「国分寺周辺の地形と湧水の観察」 フィールドワークの手法を学び記録する			
5月	第2部 移り変わる地球	地球史と生命の進化① 生命の発生と先カンブリア時代 地球史を系統的にとらえる		授業への取り組み 「興味・関心」	6
		地球史と生命の進化② カンブリア紀の大爆発			
		地球史と生命の進化③ 中生代と恐竜			
6月	第2部 移り変わる地球	地球史と生命の進化④ 新生代と人類の進化 人類の特徴とその進化過程を理解する		授業への取り組み 実習レポート 「興味・関心」	8
		「地球史と生命の進化」調べ学習とレポート作成 興味ある古生物を詳しく調べ、レポートにまとめ、プレゼンを行う			
		野外実習② 「生田緑地とプラネタリウム」 フィールドワークの手法を学び記録する、星空に興味を持つ			
7月	第2部 移り変わる地球	期末考査		発表レポートの提出とプレゼン ノート提出 〔定期考査〕 〔技能・表現〕	4
		「地球史と生命の進化」調べ学習とレポート作成 興味ある古生物を詳しく調べ、レポートにまとめ、プレゼンを行う			
		終業式			
		観測会；月と惑星 実際に見る体験を積む			
9月	第4部 宇宙の構成	地球の運動 天体としての地球の動きを理解する		授業への取り組み 「興味・関心」	8
		惑星の視運動と火星 惑星の名の由来を知り、地動説までの歴史を振り返る			
10月	第4部 宇宙の構成	恒星の分類 恒星の世界を理解し、宇宙のイメージを持つ		授業への取り組み 実習レポート 「興味・関心」	8
		恒星の進化			
		野外実習③「五日市の地層と生い立ち」 フィールドワークの手法を学び、記録する、大地のでき方を実感する			
11月	第4部 宇宙の構成	星の集団		授業への取り組み 「興味・関心」	8
		銀河系と宇宙 宇宙の階層構造をつかみ、自分なりの宇宙観を持つ			
12月	第3部 大気と海洋	「宇宙を構成する天体」調べ学習とレポート作成 興味ある天体を詳しく調べ、レポートにまとめ、プレゼンを行う		発表レポートの提出とプレゼン ノート提出 〔定期考査〕 〔技能・表現〕	4
		期末考査			
		大気の大循環と日本の天気 日本の気象条件を理解する			
1月	第3部 大気と海洋	気候変動と人間活動 グローバルに自然を考える			4
2月					
3月					

府中高等学校 令和3年度 年間授業計画

教科：(理 科) 科目：(物 理) 対象： 第 (3) 学年 必修選択 自由選択 (4) 単位

教科担当者：

使用教科書： (総合物理 数研出版)

使用教材： (セミナー物理基礎+物理 第一学習社)

	指導内容	科目「 物理 」の具体的な指導目標	評価の観点・方法	予定時数
4月		始業式・入学式・オリエンテーション	確認テスト 課題レポート 定期考査	12
	運動の表し方 平面上の運動	平面上の物体の運動について、ベクトルの考え方を利用して説明できる。		
	運動方程式 落体の運動	平面上の運動に対して運動方程式を用いて分析することができる。斜方投射、水平投射について計算ができる。		
	力のモーメント 剛体のつりあい	力のモーメントの定義を知り、モーメントのつりあいの式を使うことができる。物体の重心を計算によりもとめられる。		
5月	運動量の定義	運動量の定義を理解し、力積と運動量の変化の関係について計算することができる。	確認テスト 課題レポート 定期考査	12
	平面における運動量保存	運動量保存の関係式を使って計算ができる。力学的エネルギー保存と運動量保存の違いを説明できる。		
	反発係数	2物体の衝突によって相対速度が変化することを知り、反発係数の定義を理解する。		
		中間考査・校外学習		
6月	入試問題演習	大学入試問題演習に取り組むことによって実践力を高める。	確認テスト 課題レポート 定期考査	16
	等速円運動	等速円運動における位置、速度、加速度が時間とともにどのように変化するかを知る。		
	慣性力	加速度系において、物体がうける見かけの力を見つけ出すことができる。		
	単振動	単振動における位置、速度、加速度が時間とともにどのように変化するかを知る。		
7月	ばね振り子 単振り子	単振動の例として、ばね振り子、単振り子を扱い、単振動に対する理解を深める。	確認テスト 課題レポート 定期考査	8
		期末考査		
	万有引力	万有引力について知り、万有引力の関係式から重力加速度の大きさをあらわすことができる。		
	万有引力ポテンシャル	万有引力が保存力であることを知り、位置エネルギーを定義できることを理解する。		
9月		終業式	確認テスト 課題レポート 定期考査	16
	静電気力、静電誘導	クーロンの法則について知り、点電荷同士にはたらく力について計算をすることができる。		
	電場ベクトル ガウスの法則 電位	電場ベクトル、電磁力線の概念を理解する。 電場ベクトルの電位との関係について説明できる。		
	点電荷がつくる 電場と電位	点電荷がつくる電場ベクトルと、電位について計算をすることができる。		
10月	コンデンサー	コンデンサーの性質についての理解を深め、静電エネルギー、電気容量について知る。	確認テスト 課題レポート 定期考査	16
	磁場、磁力線 ビオサバールの法則	電流の周りに磁界が発生することを理解し、電流の強さと磁場の強さの関係式を使うことができる。		
	アンペールの法則 ローレンツ力	電流どうしにはたらく力について知り、アンペールの法則により計算をすることができる。 磁場の中を荷電粒子が移動するときに受ける力について知り、磁場中における運動方程式を計算することができる。		
	電磁誘導の法則	ファラデーの電磁誘導の法則について知り、ローレンツ力の観点から説明することができる。		
11月		中間考査	確認テスト 課題レポート 定期考査	16
	自己誘導と 相互誘導	自己誘導、相互誘導の現象を観察し、自己インダクタンス、相互インダクタンスについて理解を深める。		
	交流の発生	交流電流が発生する仕組みについて知り、電圧、電流、抵抗式を使うことができる。		
	交流とコイル 交流とコンデンサー	交流回路におけるコイルやコンデンサーでは、電流、電圧の位相がずれることを説明できる。		
12月	電磁波 電子の比電荷	電磁波の発生の仕組みを理解する。 電子の質量と電荷の比率についてローレンツ力もちいて説明できる。	確認テスト 課題レポート 定期考査	8
		期末考査		
	光の粒子性 光電効果	光の粒子性について光電効果より理解を深める。		
	ブラッグの反射条件	物質の波動性について知り、ブラッグの反射条件の式を使うことができる。		
1月		終業式	確認テスト 課題レポート 定期考査	8
	原子スペクトル エネルギー順位	水素原子のスペクトル、バルマー系列について理解を深める。		
	原子核・半減期 核エネルギー	原子核の性質について理解をする。		
2月				
3月		学年末考査・卒業式予行・卒業式		
		修了式		

府中高等学校 令和3年度 年間授業計画

教科：（ 理 科 ） 科目：（ 物理基礎 ） 対象： 第（ 3 ）学年 必修選択（ 2 ）単位

教科担当者：

使用教科書：（ 物理基礎 啓林館 ）

使用教材：（ セミナー物理基礎＋物理 第一学習社 ）

指導内容	科目「物理基礎」の具体的な指導目標	評価の観点・方法	予定時数
	始業式・入学式・オリエンテーション		
4月	波動 正弦波の式	確認テスト 課題レポート 定期考査	6
	音の伝わり方 ドップラー効果		
5月	光速度の測定 屈折の法則	確認テスト 課題レポート 定期考査	6
	屈折の法則 スペクトル		
	レンズの性質 レンズの公式		
	中間考査・校外学習		
6月	光の干渉 ヤングの干渉	確認テスト 課題レポート 定期考査	8
	薄膜の干渉 くさび形空気層		
	オームの法則 抵抗率		
	電気とエネルギー ジュール熱		
	期末考査		
7月	キルヒホッフの法則	確認テスト 課題レポート 定期考査	4
	電池の起電力		
	終業式		
9月	熱と熱量 熱容量と比熱	確認テスト 課題レポート 定期考査	8
	物質の三態 熱と仕事		
	ボイルの法則 シャルルの法則		
10月	気体分子運動論	確認テスト 課題レポート 定期考査	8
	熱力学第一法則		
	不可逆変化と 熱効率		
	中間考査		
11月	入試問題演習	確認テスト 課題レポート 定期考査	8
	入試問題演習		
	入試問題演習		
	入試問題演習		
12月		確認テスト 課題レポート 定期考査	4
	入試問題演習		
	入試問題演習		
	終業式		
1月	入試問題演習	確認テスト 課題レポート 定期考査	4
2月			
3月			
	学年末考査・卒業式予行・卒業式		
	修了式		

府中高等学校 令和3年度 年間授業計画

教科：保健体育 科目：体育 単位数：2単位

対象学年組：第3学年1組～7組（女子）

教科担当者：

使用教科書：（現代高等保健体育）

使用教材：（ステップアップ高校スポーツ）

指導内容	科目「体育（女子）」の具体的な指導目標	評価の観点・方	配当
4月 ハンドボール・体づくり・体育理論 バドミントン（選択） テニス（選択） 卓球（選択）	授業規律を身につけさせる。基本的な生活習慣を身につけ、授業に参加させる。安全に、積極的に運動できるようにする。 体育の授業について理解させる。スポーツテストにより体力を確認させ、今後の体力の向上に活かすようにする。 サッカーの基本的技能の習得。 各ラケット種目の基本技能の習得。 「豊かなスポーツライフの設計のしかた」を理解させる。	関心・意欲・態度、思考・判断、知識・理解を基本とし、学習の到達度を適切に評価する。 出席状況	6
5月 ハンドボール・体づくり・体育理論 バドミントン（選択） テニス（選択） 卓球（選択）	授業規律を身につけさせる。基本的な生活習慣を身につけ、授業に参加させる。安全に、積極的に運動できるようにする。 体育の授業について理解させる。スポーツテストにより体力を確認させ、今後の体力の向上に活かすようにする。 サッカーの基本的技能の習得。試合の運営、審判法、安全管理、スキルテスト 各ラケット種目の基本技能の習得。試合の運営、審判法、安全管理、スキルテスト 「豊かなスポーツライフの設計のしかた」を理解させる。	関心・意欲・態度、思考・判断、知識・理解を基本とし、学習の到達度を適切に評価する。 出席状況	6
6月 ハンドボール・体づくり・体育理論 バドミントン（選択） テニス（選択） 卓球（選択） 水泳 体力テスト	授業規律を身につけさせる。基本的な生活習慣を身につけ、授業に参加させる。安全に、積極的に運動できるようにする。 サッカーの基本的技能の習得。試合の運営、審判法、安全管理、スキルテスト 各ラケット種目の基本技能の習得。試合の運営、審判法、安全管理、スキルテスト 「豊かなスポーツライフの設計のしかた」を理解させる。 各種泳法の基礎的技術の習得 体力テスト測定	関心・意欲・態度、思考・判断、知識・理解を基本とし、学習の到達度を適切に評価する。 出席状況	8
7月 バドミントン（選択） テニス（選択） 卓球（選択） 水泳・体づくり・体育理論	授業規律を身につけさせる。基本的な生活習慣を身につけ、授業に参加させる。安全に、積極的に運動できるようにする。 各ラケット種目の基本技能の習得。試合の運営、審判法、安全管理、スキルテスト 「豊かなスポーツライフの設計のしかた」を理解させる。 各種泳法の基礎的技術の習得	関心・意欲・態度、思考・判断、知識・理解を基本とし、学習の到達度を適切に評価する。 出席状況	4
8月			
9月 水泳・体づくり・体育理論 バドミントン（選択） テニス（選択） 卓球（選択） バレーボール・体づくり・体育理論	各種泳法の泳ぎこみと記録測定 各ラケット種目の基本技能の習得。試合の運営、審判法、安全管理、スキルテスト 「豊かなスポーツライフの設計のしかた」を理解させる。 バレーボールの応用技能の習得及び実践 試合の運営、審判法、安全管理、試合	関心・意欲・態度、思考・判断、知識・理解を基本とし、学習の到達度を適切に評価する。 出席状況	8
10月 バレーボール・体づくり・体育理論 バドミントン（選択） テニス（選択） 卓球（選択）	授業規律を身につけさせる。基本的な生活習慣を身につけ、授業に参加させる。安全に、積極的に運動できるようにする。 バレーボールの応用技能の習得及び実践 試合の運営、審判法、安全管理、試合 各ラケット種目の基本技能の習得。試合の運営、審判法、安全管理、スキルテスト	関心・意欲・態度、思考・判断、知識・理解を基本とし、学習の到達度を適切に評価する。 出席状況	8
11月 バスケットボール・体づくり・体育理論 バスケットボール・体づくり・体育理論 バドミントン（選択） テニス（選択） 卓球（選択）	授業規律を身につけさせる。基本的な生活習慣を身につけ、授業に参加させる。安全に、積極的に運動できるようにする。 授業規律を身につけさせる。基本的な生活習慣を身につけ、授業に参加させる。安全に、積極的に運動できるようにする。 バスケットボールの応用技能の習得及び実践 試合の運営、審判法、安全管理、試合 各ラケット種目の基本技能の習得。試合の運営、審判法、安全管理、スキルテスト	関心・意欲・態度、思考・判断、知識・理解を基本とし、学習の到達度を適切に評価する。 出席状況	8
12月 バレーボール・体づくり・体育理論 バスケットボール・体づくり・体育理論 バドミントン（選択） テニス（選択） 卓球（選択）	授業規律を身につけさせる。基本的な生活習慣を身につけ、授業に参加させる。安全に、積極的に運動できるようにする。 授業規律を身につけさせる。基本的な生活習慣を身につけ、授業に参加させる。安全に、積極的に運動できるようにする。 バスケットボールの応用技能の習得及び実践 試合の運営、審判法、安全管理、試合 各ラケット種目の基本技能の習得。試合の運営、審判法、安全管理、スキルテスト	関心・意欲・態度、思考・判断、知識・理解を基本とし、学習の到達度を適切に評価する。 出席状況	4
1月 バスケットボール・体づくり・体育理論 バスケットボール・体づくり・体育理論 バドミントン（選択） テニス（選択） 卓球（選択） バレーボール・体づくり・体育理論	授業規律を身につけさせる。基本的な生活習慣を身につけ、授業に参加させる。安全に、積極的に運動できるようにする。 授業規律を身につけさせる。基本的な生活習慣を身につけ、授業に参加させる。安全に、積極的に運動できるようにする。 バスケットボールの応用技能の習得及び実践 試合の運営、審判法、安全管理、試合 各ラケット種目の基本技能の習得。試合の運営、審判法、安全管理、スキルテスト 授業規律を身につけさせる。基本的な生活習慣を身につけ、授業に参加させる。安全に、積極的に運動できるようにする。	関心・意欲・態度、思考・判断、知識・理解を基本とし、学習の到達度を適切に評価する。 出席状況	4
2月			
3月			

府中高等学校 令和3年度 年間授業計画

教 科：保健体育 科 目：体育 単位数：2単位

対象学年組：第3学年1組～7組（男子）

教科担当者：

使用教科書：（現代高等保健体育）

使用教材：（ステップアップ高校スポーツ）

指導内容	科目「体育（男子）」の具体的な指導目標	評価の観点・方	配当
4月 バスケットボール・体 づくり・体育理論 バドミントン（選択） テニス（選択） 卓球（選択）	授業規律を身につけさせる。基本的な生活習慣を身につけ、授業に参加させる。安全に、積極的に運動できるようにする。 体育の授業について理解させる。スポーツテストにより体力を確認させ、今後の体力の向上に活かすようにする。 バスケットボールの応用技能の習得及び実践 各ラケット種目の基本技能の習得。 「豊かなスポーツライフの設計のしかた」を理解させる。	関心・意欲・態度、思考・判断、知識・理解を基本とし、学習の到達度を適切に評価する。 出席状況	9
5月 バスケットボール・体 づくり・体育理論 バドミントン（選択） テニス（選択） 卓球（選択）	授業規律を身につけさせる。基本的な生活習慣を身につけ、授業に参加させる。安全に、積極的に運動できるようにする。 体育の授業について理解させる。スポーツテストにより体力を確認させ、今後の体力の向上に活かすようにする。 バスケットボールの応用技能の習得及び実践 各ラケット種目の基本技能の習得。試合の運営、審判法、安全管理、スキルテスト 「豊かなスポーツライフの設計のしかた」を理解させる。	関心・意欲・態度、思考・判断、知識・理解を基本とし、学習の到達度を適切に評価する。 出席状況	9
6月 バスケットボール・体 づくり・体育理論 バドミントン（選択） テニス（選択） 卓球（選択） 水泳 体力テスト	授業規律を身につけさせる。基本的な生活習慣を身につけ、授業に参加させる。安全に、積極的に運動できるようにする。 バスケットボールの応用技能の習得及び実践 各ラケット種目の基本技能の習得。試合の運営、審判法、安全管理、スキルテスト 「豊かなスポーツライフの設計のしかた」を理解させる。 各種泳法の基礎的技術の習得 体力テスト測定	関心・意欲・態度、思考・判断、知識・理解を基本とし、学習の到達度を適切に評価する。 出席状況	12
7月 バドミントン（選択） テニス（選択） 卓球（選択） 水泳・体づくり・体育 理論	授業規律を身につけさせる。基本的な生活習慣を身につけ、授業に参加させる。安全に、積極的に運動できるようにする。 各ラケット種目の基本技能の習得。試合の運営、審判法、安全管理、スキルテスト 「豊かなスポーツライフの設計のしかた」を理解させる。 各種泳法の基礎的技術の習得	関心・意欲・態度、思考・判断、知識・理解を基本とし、学習の到達度を適切に評価する。 出席状況	6
8月			
9月 水泳・体づくり・体育 理論 バドミントン（選択） テニス（選択） 卓球（選択） サッカー・体づくり・ 体育理論	各種泳法の泳ぎこみと記録測定 各ラケット種目の基本技能の習得。試合の運営、審判法、安全管理、スキルテスト 「豊かなスポーツライフの設計のしかた」を理解させる。 サッカーの応用技能の習得及び実践 試合の運営、審判法、安全管理、試合	関心・意欲・態度、思考・判断、知識・理解を基本とし、学習の到達度を適切に評価する。 出席状況	12
10月 サッカー・体づくり・ 体育理論 バドミントン（選択） テニス（選択） 卓球（選択） ソフトボール	授業規律を身につけさせる。基本的な生活習慣を身につけ、授業に参加させる。安全に、積極的に運動できるようにする。 サッカーの応用技能の習得及び実践 試合の運営、審判法、安全管理、試合 各ラケット種目の基本技能の習得。試合の運営、審判法、安全管理、スキルテスト 異種的な技能を習得し、安全に留意して、ゲームを楽しむことができるようにする。。	関心・意欲・態度、思考・判断、知識・理解を基本とし、学習の到達度を適切に評価する。 出席状況	12
11月 サッカー・体づくり・ 体育理論 バドミントン（選択） テニス（選択） 卓球（選択） ソフトボール	授業規律を身につけさせる。基本的な生活習慣を身につけ、授業に参加させる。安全に、積極的に運動できるようにする。 サッカーの応用技能の習得及び実践 試合の運営、審判法、安全管理、試合 各ラケット種目の基本技能の習得。試合の運営、審判法、安全管理、スキルテスト 異種的な技能を習得し、安全に留意して、ゲームを楽しむことができるようにする。。	関心・意欲・態度、思考・判断、知識・理解を基本とし、学習の到達度を適切に評価する。 出席状況	12
月 サッカー・体づくり・ 体育理論 バドミントン（選択） テニス（選択） 卓球（選択） ソフトボール	授業規律を身につけさせる。基本的な生活習慣を身につけ、授業に参加させる。安全に、積極的に運動できるようにする。 サッカーの応用技能の習得及び実践 試合の運営、審判法、安全管理、試合 各ラケット種目の基本技能の習得。試合の運営、審判法、安全管理、スキルテスト 異種的な技能を習得し、安全に留意して、ゲームを楽しむことができるようにする。。	関心・意欲・態度、思考・判断、知識・理解を基本とし、学習の到達度を適切に評価する。 出席状況	6
1月 サッカー・体づくり・ 体育理論 バドミントン（選択） テニス（選択） 卓球（選択） ソフトボール	授業規律を身につけさせる。基本的な生活習慣を身につけ、授業に参加させる。安全に、積極的に運動できるようにする。 サッカーの応用技能の習得及び実践 試合の運営、審判法、安全管理、試合 各ラケット種目の基本技能の習得。試合の運営、審判法、安全管理、スキルテスト 異種的な技能を習得し、安全に留意して、ゲームを楽しむことができるようにする。。	関心・意欲・態度、思考・判断、知識・理解を基本とし、学習の到達度を適切に評価する。 出席状況	9
2月			
3月			

府中高等学校 令和3年度 年間授業計画

教科:(英語) 科目: コミュニケーション英語Ⅲ 対象:(第3学年1組 ~7組) 4単位

教科担当者:

使用教科書: Perspective English Communication Ⅲ(第一学習社)

使用教材: 英単語ターゲット1900(旺文社)、Listening Ace 10(美誠社)、英文速読ドリル10 minutes(Z会)、Cutting Edge I(EMILE出版)

指導内容	科目「コミュニケーション英語Ⅱ」の具体的な指導目標	評価の観点・方法	予定時数
4月	始業式・入学式・オリエンテーション	a. 授業に対する意欲/b. 発表/c. 課題等の提出/d. 小テスト・定期考査等	12
	Discourse Navigator 1~7		
	語彙力を高め「英語を正しく読む力」を養成する。 リスニング力を身につけさせる。		
5月	Lesson 1	a. 授業に対する意欲/b. 発表/c. 課題等の提出/d. 小テスト・定期考査等	12
	Lesson 2		
	Lesson 3		
6月	Lesson 4	a. 授業に対する意欲/b. 発表/c. 課題等の提出/d. 小テスト・定期考査等	16
	Lesson 5		
	Lesson 6		
7月	Lesson 6	a. 授業に対する意欲/b. 発表/c. 課題等の提出/d. 小テスト・定期考査等	8
	期末考査		
	語彙力を高め「英語を正しく読む力」を養成する。 リスニング力を身につけさせる。 終業式		
9月	Lesson 7	a. 授業に対する意欲/b. 発表/c. 課題等の提出/d. 小テスト・定期考査等	16
	Lesson 8		
	語彙力を高め「英語を正しく読む力」を養成する。 リスニング力を身につけさせる。 センター試験対策		
10月	Lesson 9	a. 授業に対する意欲/b. 発表/c. 課題等の提出/d. 小テスト・定期考査等	16
	Lesson 10		
	語彙力を高め「英語を正しく読む力」を養成する。 リスニング力を身につけさせる。 センター試験対策 中間考査		
11月	Lesson 11	a. 授業に対する意欲/b. 発表/c. 課題等の提出/d. 小テスト・定期考査等	16
	Pleasure Reading 1		
	語彙力を高め「英語を正しく読む力」を養成する。 リスニング力を身につけさせる。 センター試験対策		
12月	Pleasure Reading 2	a. 授業に対する意欲/b. 発表/c. 課題等の提出/d. 小テスト・定期考査等	8
	期末考査		
	語彙力を高め「英語を正しく読む力」を養成する。 リスニング力を身につけさせる。 センター試験対策。 終業式		
1月	Change the World	a. 授業に対する意欲/b. 発表/c. 課題等の提出/d. 小テスト・定期考査等	8
	始業式		
	語彙力を高め「英語を正しく読む力」を養成する。 リスニング力を身につけさせる。 センター試験対策。 卒業考査 自宅学習		
2月		a. 授業に対する意欲/b. 発表/c. 課題等の提出/d. 小テスト・定期考査等	
3月		a. 授業に対する意欲/b. 発表/c. 課題等の提出/d. 小テスト・定期考査等	

府中高等学校 令和3年度 年間授業計画

教科:(英語) 科目:(英語表現Ⅲ) 対象: 第(3)学年(1)組 ~ (7)組 (2)単位

教科担当者:

使用教科書:()

使用教材:(VINTAGE、VINTAGE Drive、FINAL STEP[いづな書店])

	指導内容	科目「英語表現Ⅲ」の具体的な指導目標	評価の観点・方法	予定時数
4月		始業式・入学式・オリエンテーション		
	・不定詞	名詞用法、形容詞用法、副詞用法の不定詞を含んだ文が理解できる。原形不定詞の用法が理解できる。	「興味・関心」、「意欲・態度」、「知識・理解」「予習プリント」、「単語テスト」	5
	・動名詞	動名詞の基本用法が理解できる。動名詞の意味上の主語を含んだ文が理解できる。動名詞を用いた慣用表現が理解できる。		
5月	・分詞	名詞を修飾する分詞、補語の働きをする分詞が理解できる。分詞構文が理解できる。	「興味・関心」、「意欲・態度」、「知識・理解」「予習プリント」、「単語テスト」、「定期考査」	7
		中間考査		
	・関係詞	関係代名詞の基本用法が理解できる。関係副詞の基本用法が理解できる。		
6月	・関係詞	関係代名詞のwhatが理解できる。目的格の関係代名詞の省略が理解できる。	「興味・関心」、「意欲・態度」、「知識・理解」「予習プリント」、「単語テスト」	7
	・接続詞	様々な接続詞の基本用法が理解できる。		
	・前置詞	様々な前置詞の基本用法が理解できる。		
7月	・比較	原級比較の基本と倍数表現が理解できる。比較級表現の基本が理解できる。	「興味・関心」、「意欲・態度」、「知識・理解」「予習プリント」、「単語テスト」	5
		期末考査		
	・イディオム	入試でよく出題されるイディオムが英文の中で理解できる。		
9月		期末考査	「興味・関心」、「意欲・態度」、「知識・理解」「予習プリント」、「単語テスト」	7
	・疑問文と語順	疑問詞の基本的用法が理解できる。		
	・疑問文と語順	間接疑問と語順が理解できる。		
10月	・否定、省略、強調	部分否定と全体否定が理解できる。	「興味・関心」、「意欲・態度」、「知識・理解」「予習プリント」、「単語テスト」、「定期考査」	7
	・否定、省略、強調	強調構文が理解できる。		
	・時制の一致と話法	平叙文と命令文の話法の転換ができる。		
11月	・時制の一致と話法	疑問文の話法の転換ができる。	「興味・関心」、「意欲・態度」、「知識・理解」「予習プリント」、「単語テスト」、「定期考査」	9
	・動詞の語法	不定詞、動名詞のどちらを目的語にとるか理解できる。目的語が不定詞と動名詞で意味が異なる動詞を理解することができる。		
	・動詞の語法	自動詞、他動詞を見分けることができる。have+0+done / have+0+doを含む文が理解できる。		
12月	・センター対策	品詞によってアクセントが異なる語、紛らわしい母音、カタカナ語のアクセントの位置や発音を問う問題に答えることができる。	「興味・関心」、「意欲・態度」、「知識・理解」「予習プリント」、「単語テスト」	5
	・センター対策	品詞によってアクセントが異なる語、紛らわしい母音、カタカナ語のアクセントの位置や発音を問う問題に答えることができる。		
	・センター対策	既習の文法知識を活用して、様々な形式の文法問題(空所補充、対話問題空所補充、語句整序等)に答えることができる。		
1月	・センター対策	既習の文法知識を活用して、様々な形式の文法問題(空所補充、対話問題空所補充、語句整序等)に答えることができる。	「興味・関心」、「意欲・態度」、「知識・理解」「予習プリント」	1
	・センター対策	語句定義、発言要約、文章空所補充、文整序、文補充等の問題を解き、問題の形式に慣れるとともに、与えられた時間で問題を解くことができる。		
	・センター対策	語句定義、発言要約、文章空所補充、文整序、文補充等の問題を解き、問題の形式に慣れるとともに、与えられた時間で問題を解くことができる。		
2月		期末考査	「興味・関心」、「意欲・態度」、「知識・理解」「予習プリント」、「単語テスト」、「定期考査」	5
		期末考査		
	・1年間総復習	語句定義、発言要約、文章空所補充、文整序、文補充等の問題を解き、問題の形式に慣れるとともに、与えられた時間で問題を解くことができる。		
3月		終業式	「興味・関心」、「意欲・態度」、「知識・理解」「予習プリント」	1
	・センター対策	語句定義、発言要約、文章空所補充、文整序、文補充等の問題を解き、問題の形式に慣れるとともに、与えられた時間で問題を解くことができる。		
		学年末考査・卒業式予行・卒業式		
		修了式		

府中高等学校 令和6年度 年間課程計画

教科：英語 科目：コミュニケーション英語Ⅱ 単位数：2単位

対象学年：第3学年1組～7組

教科担当：

使用教科書：(Change the World Standard) 徹底改訂版

使用教材：(上記問題集、辞書、補充プリント)

指導内容	科目コミュニケーション英語Ⅱの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配分	
4月	<p>授業オリエンテーション ・学習の進め方 ・学期後進修計画の提示</p> <p>Unit 1 テーマ：歴史・由来 History of Tulips</p> <p>Lesson 1 「している」の表現</p>	<p>学習の仕方、1年間を遂げた英語学習の進め方、ペースの理解を促す。</p> <p>・全文、文構造と修飾関係を明らかにしながら、正しく訳出ができる力を養う。 ・英語で書かれた論説文の論理展開を理解する。 ・下線部訳、空欄補充、内容一致など、多様な問題の解き方の手順を理解する。</p> <p>【主な学習項目】 英文を一定時間内に読み終え内容を把握するとともに、段落構成の確認や話題に特有の語彙を理解する。</p>	<p>・授業に臨むに当たり適切に学習ができているか(意図) ※教科書連携</p> <p>・発問や設問に対して、適切に解答できているか(理解) ※授業での活動、定期テスト</p> <p>・学習した内容が定着しているか(知識・技能) ※定期テスト</p>	6
5月	<p>Unit 2 テーマ：国際・社会問題 Starvation around the World</p> <p>Lesson 2 「した、していた」の表現</p> <p>Unit 3 テーマ：国際・ビジネス Shoe Business in Ethiopia</p> <p>Unit 4 テーマ：環境・科学 Yellow Sand</p> <p>中間考査</p>	<p>・全文、文構造と修飾関係を明らかにしながら、正しく訳出ができる力を養う。 ・英語で書かれた論説文の論理展開を理解する。 ・下線部訳、空欄補充、内容一致など、多様な問題の解き方の手順を理解する。</p> <p>【主な文法項目】 関係代名詞(主格・目的格)・ディスコースマーカ―の理解・動名詞を含む慣用表現、挿入句の処理の仕方など</p> <p>SVOC(〇-過去分詞)・呼応表現の理解・関係代名詞の非制限用法・比較の慣用表現など</p> <p>・全文、文構造と修飾関係を明らかにしながら、正しく訳出ができる力を養う。 ・英語で書かれた論説文の論理展開を理解する。 ・下線部訳、空欄補充、内容一致など、多様な問題の解き方の手順を理解する。</p> <p>【主な文法項目】 不定詞(目的語)・関係代名詞・動名詞+have+過去分詞・抽象-具体の展開の理解など</p>	<p>・授業に臨むに当たり適切に学習ができているか(意図) ※教科書連携</p> <p>・発問や設問に対して、適切に解答できているか(理解) ※授業での活動、定期テスト</p> <p>・学習した内容が定着しているか(知識・技能) ※定期テスト</p>	6
6月	<p>Unit 5 テーマ：国際・社会問題 Bottled water and the environmental damage</p> <p>Lesson 3 時の表現</p> <p>Unit 7 テーマ：言語 Extensive reading</p> <p>Unit 8 テーマ：社会・仕事 How to be a star performer</p> <p>Lesson 4 主語を考える</p> <p>Unit 9 テーマ：生物 Go find and identify various species</p> <p>期末考査</p>	<p>・全文、文構造と修飾関係を明らかにしながら、正しく訳出ができる力を養う。 ・英語で書かれた論説文の論理展開を理解する。 ・下線部訳、空欄補充、内容一致など、多様な問題の解き方の手順を理解する。</p> <p>【主な文法項目】 不定詞(目的語)・関係代名詞・動名詞+have+過去分詞・抽象-具体の展開の理解など</p> <p>・全文、文構造と修飾関係を明らかにしながら、正しく訳出ができる力を養う。 ・英語で書かれた論説文の論理展開を理解する。 ・下線部訳、空欄補充、内容一致など、多様な問題の解き方の手順を理解する。</p> <p>【主な文法項目】 関係代名詞(前置詞)・関係代名詞+have+過去分詞・抽象-具体の展開の理解など</p>	<p>・授業に臨むに当たり適切に学習ができているか(意図) ※教科書連携</p> <p>・発問や設問に対して、適切に解答できているか(理解) ※授業での活動、定期テスト</p> <p>・学習した内容が定着しているか(知識・技能) ※定期テスト</p>	8
7月	<p>Unit 10 テーマ：動物 Extinction because of the recent urbanization and agricultural development</p>	<p>・全文、文構造と修飾関係を明らかにしながら、正しく訳出ができる力を養う。 ・英語で書かれた論説文の論理展開を理解する。 ・下線部訳、空欄補充、内容一致など、多様な問題の解き方の手順を理解する。</p> <p>【主な文法項目】 関係代名詞・前置詞・不定詞(目的語)・関係代名詞など</p>	<p>・授業に臨むに当たり適切に学習ができているか(意図) ※教科書連携</p> <p>・発問や設問に対して、適切に解答できているか(理解) ※授業での活動、定期テスト</p> <p>・学習した内容が定着しているか(知識・技能) ※定期テスト</p>	4
8月				
9月	<p>Unit 11 テーマ：国際・医療 神奈川大</p> <p>Lesson 5 動名詞を考える</p> <p>Unit 12 テーマ：音楽 宇野浩二大</p> <p>Unit 13 テーマ：文化・アメリカ 武蔵大</p> <p>Lesson 6 動詞</p>	<p>・パラグラフごとの主題、主題を認識しながら読み進めることができる。 ・文章全体での論理展開を理解し、主題や主題をつかむことができる。 ・論説文における論理展開を想定しながら読み進めることができる。 ・文法的根拠をもつて訳出、問題解答する思考的習慣を養う</p> <p>【主な文法項目】 関係代名詞・前置詞・不定詞(目的語)・部分否定・疑問詞+to do</p> <p>・パラグラフごとの主題、主題を認識しながら読み進めることができる。 ・文章全体での論理展開を理解し、主題や主題をつかむことができる。 ・論説文における論理展開を想定しながら読み進めることができる。 ・文法的根拠をもつて訳出、問題解答する思考的習慣を養う</p> <p>【主な文法項目】 関係代名詞・前置詞・不定詞(目的語)・部分否定・疑問詞+to do</p>	<p>・授業に臨むに当たり適切に学習ができているか(意図) ※教科書連携</p> <p>・発問や設問に対して、適切に解答できているか(理解) ※授業での活動、定期テスト</p> <p>・学習した内容が定着しているか(知識・技能) ※定期テスト</p>	8
10月	<p>Unit 14 テーマ：人間・性質 武蔵野美術大</p> <p>Unit 15 テーマ：コミュニケーション (論説文) 京都市立大</p> <p>Lesson 7 読点・表出 甲府考査</p>	<p>・パラグラフごとの主題、主題を認識しながら読み進めることができる。 ・文章全体での論理展開を理解し、主題や主題をつかむことができる。 ・論説文における論理展開を想定しながら読み進めることができる。 ・文法的根拠をもつて訳出、問題解答する思考的習慣を養う</p> <p>【主な文法項目】 関係代名詞・前置詞・不定詞(目的語)・部分否定・疑問詞+to do</p> <p>・パラグラフごとの主題、主題を認識しながら読み進めることができる。 ・文章全体での論理展開を理解し、主題や主題をつかむことができる。 ・論説文における論理展開を想定しながら読み進めることができる。 ・文法的根拠をもつて訳出、問題解答する思考的習慣を養う</p> <p>【主な文法項目】 関係代名詞・前置詞・不定詞(目的語)・部分否定・疑問詞+to do</p>	<p>・授業に臨むに当たり適切に学習ができているか(意図) ※教科書連携</p> <p>・発問や設問に対して、適切に解答できているか(理解) ※授業での活動、定期テスト</p> <p>・学習した内容が定着しているか(知識・技能) ※定期テスト</p>	8
11月	<p>Unit 16 テーマ：言語 開成学院大</p> <p>Lesson 8 比較</p> <p>Unit 17 テーマ：音楽 桐蔭横浜大</p> <p>Unit 18 テーマ：音楽 (論説文) 桐蔭横浜大</p> <p>Lesson 9 複文の表現</p> <p>Unit 19 テーマ：コッセイ (エッセイ) 神奈川大</p>	<p>・パラグラフごとの主題、主題を認識しながら読み進めることができる。 ・文章全体での論理展開を理解し、主題や主題をつかむことができる。 ・論説文における論理展開を想定しながら読み進めることができる。 ・文法的根拠をもつて訳出、問題解答する思考的習慣を養う</p> <p>【主な文法項目】 関係代名詞・前置詞・不定詞(目的語)・部分否定・疑問詞+to do</p> <p>・パラグラフごとの主題、主題を認識しながら読み進めることができる。 ・文章全体での論理展開を理解し、主題や主題をつかむことができる。 ・論説文における論理展開を想定しながら読み進めることができる。 ・文法的根拠をもつて訳出、問題解答する思考的習慣を養う</p> <p>【主な文法項目】 関係代名詞・前置詞・不定詞(目的語)・部分否定・疑問詞+to do</p>	<p>・授業に臨むに当たり適切に学習ができているか(意図) ※教科書連携</p> <p>・発問や設問に対して、適切に解答できているか(理解) ※授業での活動、定期テスト</p> <p>・学習した内容が定着しているか(知識・技能) ※定期テスト</p>	8
12月	<p>Unit 20 テーマ：健康 (論説文) 学習院大</p> <p>Lesson 10 疑問・名詞</p> <p>期末考査</p>	<p>・パラグラフごとの主題、主題を認識しながら読み進めることができる。 ・文章全体での論理展開を理解し、主題や主題をつかむことができる。 ・論説文における論理展開を想定しながら読み進めることができる。 ・文法的根拠をもつて訳出、問題解答する思考的習慣を養う</p> <p>【主な文法項目】 関係代名詞・前置詞・不定詞(目的語)・部分否定・疑問詞+to do</p>	<p>・授業に臨むに当たり適切に学習ができているか(意図) ※教科書連携</p> <p>・発問や設問に対して、適切に解答できているか(理解) ※授業での活動、定期テスト</p> <p>・学習した内容が定着しているか(知識・技能) ※定期テスト</p>	4
1月	<p>入試問題演習(センター演習) Lesson 11</p>	<p>・実際の入試における、問題解答のための時間管理、ペース配分、解答順序など、実際の入試に向けて、自分なりの方法を確立する。</p>	<p>・授業に臨むに当たり適切に学習ができているか(意図) ※教科書連携</p>	4
2月				
3月				

前中高等学校 令和3年度 年間授業計画

教科: 英語 科目: コミュニケーション英語Ⅱ 単位数: 2単位
 対象学年: 第3学年1組～7組
 教科担当: _____
 使用教科書: (Change the World Approach - 徹底改訂版)
 使用教材: (上記問題集、参考書Breakthrough、辞書、補充プリント)

指導内容	科目コミュニケーション英語Ⅱの具体的な指導目標	詳細の観点・方法	配当 時数
授業よりエンターテイン 学習の進め方・年間指導計画の確認 品詞・文型の確認テスト			
4月 Unit 1 テーマ 生き方 (論説文) 【主な文法項目】 不定詞・関係代名詞・SVOCの理解・関係副詞	・本文、文構造と修飾関係を明らかにしながら、正しく訳出ができる力を養う。 ・英語で書かれた論説文の論理展開を理解する。 ・取り扱われる文法事項について再確認し、理解することができる。 ・下線部訳、空欄補充、内容一致など、多様な問題の解き方の手順を理解する。 ・Breakthroughなどの補助教材を用いて、自学自習できる習慣を身につける。	・授業に臨むに当たり適切に学習ができているか(意識) ※私語厳禁 ・発問や設問に対して、適切に解答できているか。(理解) ※授業での活動、定期テスト ・学習した内容が定着しているか(知識・技能) ※定期テスト	6
5月 Unit 4 テーマ 技術 (論説文) 大塚工業大 【主な文法項目】 関係代名詞(主格・目的格)・ディスコースマーカの理解・動名詞を含む慣用語表・挿入句の転写の仕方など Unit 6 テーマ 歴史 (論説文) 明治大学 【主な文法項目】 SVOC(C-過去分詞)・呼応表現の理解・関係代名詞の非制限用法・比較の慣用語表など Unit 2 テーマ 物語 (物語文) 自由学院大 【主な文法項目】 SVOC(C-過去分詞)・呼応表現の理解・関係代名詞の非制限用法・比較の慣用語表など 中間考査 Unit 7 テーマ 環境 (論説文) 法政大 【主な文法項目】 不定詞・関係代名詞・先行詞を含む関係代名詞what, ディスコースマーカーなど	・本文、文構造と修飾関係を明らかにしながら、正しく訳出ができる力を養う。 ・英語で書かれた論説文の論理展開を理解する。 ・物語文と論説文の違いを理解し、書かれている英文の種類に応じて読み方を適切に意識することができる。 ・取り扱われる文法事項について再確認し、理解することができる。 ・下線部訳、空欄補充、内容一致など、多様な問題の解き方の手順を理解する。 ・Breakthroughなどの補助教材を用いて、自学自習できる習慣を身につける。	・授業に臨むに当たり適切に学習ができているか(意識) ※私語厳禁 ・発問や設問に対して、適切に解答できているか。(理解) ※授業での活動、定期テスト ・学習した内容が定着しているか(知識・技能) ※定期テスト	6
6月 Unit 9 テーマ ビジネス (論説文) 早稲田大 【主な文法項目】 不定詞(目的用法)・分詞構文・make O of, make O do, 仮定法の慣用語表 Unit 10 テーマ 行動科学 (論説文) 慶応大 【主な文法項目】 不定詞(目的用法)・関係副詞・助動詞・Have(過去分詞)・挿入句・具体の展開の解法など Unit 11 テーマ 社会 (論説文) 中央学院大 【主な文法項目】 関係代名詞・形式主語構文(what節)・内容訳明・疑問文 Unit 8 テーマ 文化 (エッセイ) 慶応大 【主な文法項目】 分詞構文・前置文・不定詞(目的用法)・関係副詞など	・本文、文構造と修飾関係を明らかにしながら、正しく訳出ができる力を養う。 ・英語で書かれた論説文の論理展開を理解する。 ・エッセイと論説文の違いを理解し、書かれている英文の種類に応じて読み方を適切に意識することができる。 ・取り扱われる文法事項について再確認し、理解することができる。 ・下線部訳、空欄補充、内容一致など、多様な問題の解き方の手順を理解する。 ・Breakthroughなどの補助教材を用いて、自学自習できる習慣を身につける。	・授業に臨むに当たり適切に学習ができているか(意識) ※私語厳禁 ・発問や設問に対して、適切に解答できているか。(理解) ※授業での活動、定期テスト ・学習した内容が定着しているか(知識・技能) ※定期テスト	6
7月 特別時間割 センターもしくは私立大学過去問演習	実際の過去問を使い、演習形式での授業を行う。 1学期で学んだ基礎知識・技能を使い、実際の入試問題での活用法を確認する。	・授業に臨むに当たり適切に学習ができているか(意識) ※私語厳禁 ・発問や設問に対して、適切に解答できているか。(理解) ※授業での活動、定期テスト ・学習した内容が定着しているか(知識・技能) ※定期テスト	4
8月 自主学習 【課題】 Unit 12 テーマ 風俗 学習院大 自主学習 【課題】 Unit 13 テーマ 文化・アメリカ 武蔵大	1年次より学習してきた文法事項や読解の技能を確認するとともに、志望校の過去問研究を各自で行う。		
9月 Unit 14 テーマ 人間・性質 (論説文) 成蹊学院大 【主な文法項目】 不定詞(目的用法)・分詞構文・不定詞の形別の用法・部分否定・疑問詞+to do Unit 15 テーマ コミュニケーション (論説文) 法政大 【主な文法項目】 関係代名詞・部分否定・疑問詞+to do・不定詞の用法・部分否定・疑問詞+to do・不定詞の用法・部分否定・疑問詞+to do・不定詞の用法・部分否定・疑問詞+to do	・パラグラフの主張、主題を意識しながら読み進めることができる。 ・文章全体での論理展開を理解し、主張や主題をつかむことができる。 ・論説文における論理展開を想定しながら読み進めることができる。 ・取り扱われる文法事項について再確認し、理解することができる。 ・下線部訳、空欄補充、内容一致など、多様な問題の解き方の手順を理解する。 ・Breakthroughなどの補助教材を用いて、自学自習できる習慣を身につける。	・授業に臨むに当たり適切に学習ができているか(意識) ※私語厳禁 ・発問や設問に対して、適切に解答できているか。(理解) ※授業での活動、定期テスト ・学習した内容が定着しているか(知識・技能) ※定期テスト	6
10月 Unit 16 テーマ 言語 (論説文) 関西学院大 【主な文法項目】 関係代名詞・肯定法・否定を含む呼応表現・譲歩否定の論理展開・過去完了形 Unit 18 テーマ エッセイ (エッセイ) 津田大 【主な文法項目】 関係代名詞・呼応表現の理解・肯定法・過去完了形・動詞の(過去形)・強調構文 中間考査 Unit 18 テーマ 音楽 (論説文) 福井県立大 【主な文法項目】 分詞の譲歩表現・比較の慣用語表・関係副詞の理解	・パラグラフの主張、主題を意識しながら読み進めることができる。 ・文章全体での論理展開を理解し、主張や主題をつかむことができる。 ・エッセイと論説文の違いを理解し、書かれている英文の種類に応じて読み方を適切に意識することができる。 ・取り扱われる文法事項について再確認し、理解することができる。 ・下線部訳、空欄補充、内容一致など、多様な問題の解き方の手順を理解する。 ・Breakthroughなどの補助教材を用いて、自学自習できる習慣を身につける。	・授業に臨むに当たり適切に学習ができているか(意識) ※私語厳禁 ・発問や設問に対して、適切に解答できているか。(理解) ※授業での活動、定期テスト ・学習した内容が定着しているか(知識・技能) ※定期テスト	6
11月 入試問題演習(センター演習) 入試問題演習(センター演習)	・実際の入試問題を用いて、問題解法における時間管理、ペース配分、解答順序など、実際の入試に必要な考え方を身につける。 ・取り扱われる文法事項について再確認し、理解することができる。 ・下線部訳、空欄補充、内容一致など、多様な問題の解き方の手順を理解する。 ・Breakthroughなどの補助教材を用いて、自学自習できる習慣を身につける。	・授業に臨むに当たり適切に学習ができているか(意識) ※私語厳禁 ・発問や設問に対して、適切に解答できているか。(理解) ※授業での活動、定期テスト ・学習した内容が定着しているか(知識・技能) ※定期テスト	6
12月 期末考査 入試問題演習(センター演習)	・実際の入試問題を用いて、問題解法における時間管理、ペース配分、解答順序など、実際の入試に必要な考え方を身につける。 ・取り扱われる文法事項について再確認し、理解することができる。 ・下線部訳、空欄補充、内容一致など、多様な問題の解き方の手順を理解する。 ・Breakthroughなどの補助教材を用いて、自学自習できる習慣を身につける。	・授業に臨むに当たり適切に学習ができているか(意識) ※私語厳禁 ・発問や設問に対して、適切に解答できているか。(理解) ※授業での活動、定期テスト ・学習した内容が定着しているか(知識・技能) ※定期テスト	4
1月			
2月			
3月			

府中高等学校 令和3年度 年間授業計画

教科:(家庭科) 科目:(子どもの発達と保育) 対象: 第(3)学年(1)組 ~ (7)組 2単位

教科担当者:

使用教科書:(子どもの発達と保育 実教出版)

	指導内容	科目「子どもの発達と保育」の具体的な指導目標	評価の観点・方法	予定時数
4月	第一章 子どもの発達の特性	始業式・入学式・オリエンテーション	ノート点検、資料整理、意欲	6
		・乳幼児の発達と成長について理解する。		
		・乳幼児の身長と体重、からだの発達について理解する。		
		・乳幼児生理的特徴について理解する。		
5月	第二章子どもの発達過程	・保育園実習を行い、保育園での生活を観察する。	ノート点検、資料整理、意欲	6
		・保育園実習のまとめ		
		・保育の目的と目標		
		中間考査・校外学習		
6月	第二章子どもの発達過程	・幼稚園と保育所の違いについて理解する。	ノート点検、資料整理、意欲、実習態度	8
		・保育園実習を行い、保育園での生活を観察する。		
		・新生児の運動機能とからだ全体の運動について理解する。		
		・愛着関係について、自我の芽生えについて理解する。		
7月	一学期のまとめ	・期末テスト	ノート点検、資料整理、意欲、実習態度、テスト	4
		・認知能力の発達について理解する。		
		終業式		
9月	第三章子どもの生活	・保育園実習	ノート点検、資料整理、意欲、実習態度	8
		・発達を支える環境について理解する。		
		・子どもが自ら育つ発達ということについて理解する。		
		・乳幼児の生理的特徴について理解する。		
10月	第三章子どもの生活	・保育園実習	ノート点検、資料整理、意欲、実習態度、作品提出	8
		・人との絆(愛情関係)の形成について理解する。		
		・乳幼児の心の発達、情緒の発達について理解する。		
		中間考査		
11月	第四章子どもの保育	・擁護の具体的な方法について理解する。	ノート点検、資料整理、意欲、実習態度、作品提出	8
		・基本的生活習慣の習得について理解する。		
		・子どもの食事、ほ乳栄養と人工栄養について理解する。		
		・離乳の進め方と食事行動の発達について理解する。		
12月	第四章子どもの保育	期末考査	ノート点検、資料整理、意欲、作品提出、テスト	4
		・2学期の振り返り		
		終業式		
1月	第五章子どもの福祉と子育て支援	・子どもに必要な遊具、遊び、児童文化財について理解する。	ノート点検、資料整理、意欲、実習態度	4
2月				
3月		学年末考査・卒業式予行・卒業式		
		修了式		

府中高等学校 令和3年度 年間授業計画

教 科 : 情報 科 目 : 情報の科学 単位数 : 2単位

対象学年組 : 第3学年 必修選択

教科担当者 :

使用教科書 : (「情報の科学 新訂版」 実教出版)

使用教材 : (「30時間でマスター Excel2016」 実教出版)

指導内容		情報の科学の具体的な指導目標	評価の観点・方	時数
4月	第3章 アルゴリズムとプログラム	始業式・入学式・オリエンテーション アルゴリズムの基本構造(順次・選択・繰り返し)を実習を通して理解し、プログラミングについての興味・関心を持たせる。 アルゴリズム応用(配列・逐次探索)について理解し、より複雑な動作を習得する。	興味・関心 意欲・態度 知識・理解 ワークシート 課題	6
5月	第3章 アルゴリズムとプログラム	「数あてゲーム」のプログラムの作成と実行、さらにゲーム性を高めるためのプログラム改良について理解する。 操作手順の記録(手続きの自動化)と記録された操作の活用について習得する。 中間審査期間 中間審査期間・校外学習	興味・関心 意欲・態度 知識・理解 ワークシート 課題	6
6月	第3章 アルゴリズムとプログラム	体育祭 人間がパズルを解くための手順とコンピュータでパズルを解く手順を比較しながら考える。 パズルを解くプログラムの作成を通して、複雑な処理も基本的なアルゴリズムの組み合わせであることを理解する。 画像処理ソフトウェアやホームページ作成ソフトの実習を通して、画像のデジタル化について理解する。 期末審査	興味・関心 意欲・態度 知識・理解 ワークシート 課題	8
7月	第1章 情報とコンピュータ	期末審査期間 画像処理ソフトウェアやホームページ作成ソフトの実習を通して、画像のデジタル化について理解する。 終業式	興味・関心 意欲・態度 知識・理解 ワークシート 定期審査 課題	4
8月				
9月	第1章 情報とコンピュータ 第5章 データベース	画像処理ソフトウェアやホームページ作成ソフトの実習を通して、各種ソフトウェアの働きと活用を理解する。 画像処理ソフトウェアやホームページ作成ソフトの実習を通して、各種ソフトウェアの働きと活用を理解する。 校内模試 データベースの概念や形態、特徴について実習を通して理解する。	興味・関心 意欲・態度 知識・理解 ワークシート 課題	8
10月	第5章 データベース 第6章 問題解決(表計算ソフト利用)	表計算ソフトのデータベース機能について実習を通して理解する。 表計算ソフトのデータベース関数について実習を通して理解する。 表計算ソフトを活用したデータベースに関する総合課題を通して、次の問題解決学習につなげる。 中間審査期間 棒グラフと折れ線グラフによる複合グラフを作成し、問題分析するための表現手段を習得する。	興味・関心 意欲・態度 知識・理解 ワークシート 課題	8
11月	第6章 問題解決(表計算ソフト利用)	順位づけ関数とn番目に大きい値・小さい値を求める課題の解決手法を習得する。 校内模試 必要なデータを列(縦)または行(横)方向に検索して表示させる関数を用いた問題解決手段を習得する。 期末審査	興味・関心 意欲・態度 知識・理解 ワークシート 課題	8
12月	第6章 問題解決(表計算ソフト利用)	期末審査期間 文字列操作する関数を活用した課題解決学習に取り組む。 条件を指定してデータの集計を行う関数を用いた課題解決手法を習得する。 複数の条件を指定してデータの集計を行う関数を用いた課題解決手法を習得する。	興味・関心 意欲・態度 知識・理解 ワークシート 定期審査 課題	4
1月	第8章 セキュリティ	パスワードや認証など、情報セキュリティを高めるものについて考える。 シーザー暗号の仕組みを利用し、表計算ソフトによる暗号作成ツールを作る。 卒業審査	興味・関心 意欲・態度 知識・理解 ワークシート 課題	4
2月				
3月		学年末審査・卒業式予行・卒業式 修了式		

府中高等学校 令和3年度 年間授業計画

教科:(総合的な学習の時間) 対象:(第3学年 1組 ~ 7組) 1単位

教科担当者:

使用教科書:(なし)

使用教材:(なし)

	指導内容	科目「総合的な学習の時間」の具体的な指導目標	評価の観点・方法	予定時数
4月	進路選択指導	始業式・入学式・オリエンテーション	主体的に取り組めたか 「意欲・態度」 「知識・理解」	3
		進路希望調査 ・自己の進路希望を明確にし、進路実現に向けての具体的な取り組み計画を立てる		
		進路ガイダンス (1年間の流れ、入試の方法/時期、評定平均、模試日程) ・受験全体の流れを理解する		
		校内統一模試 ・現時点での自己の実力を把握し、目標の設定をする		
5月	進路選択指導	A0・推薦ガイダンス ・推薦入試の概要を理解する	主体的に取り組めたか 「意欲・態度」 「知識・理解」	3
		模擬試験振り返り指導 ・自己のウイークポイントを確認し、学習計画を再度立てる		
		自己の進路実現に向けて各自の進路希望状況に応じた学習を行う 現在の取り組み状況及び進捗状況を確認し、以降の取り組み内容を計画・確認する		
		中間考査		
		進路の手引きを使った進路ガイダンス (進路) ・進路の全体を理解する		
6月	進路選択指導	総合学力マーク模試・(マーク模試・分野別模擬試験も同時実施・公務員、就職、看護医療専門学校 専門学校ガイダンス)	主体的に取り組めたか 「意欲・態度」 「知識・理解」	4
		自己の進路実現に向けて各自の進路希望状況に応じた学習を行う		
		現在の取り組み状況及び進捗状況を確認し、以降の取り組み内容を計画・確認する		
		指定校ガイダンス① ・指定校推薦入試の概要を理解する、一般常識力を高める		
7月	進路選択指導	期末考査	主体的に取り組めたか 「意欲・態度」 「知識・理解」	2
		センター入試説明会、「志望の動機」の書き方講習		
		学年集会(夏休みの過ごし方)		
		終業式		
9月	進路指導	面接講習会(外部) 面接スキルの向上① ・面接力の向上	主体的に取り組めたか ワークシートと 実技	4
		模試研究 ・自分の実力の確認と今後の対策		
		センター試験出願指導①、面接指導		
		進研模試〔分野別〕		
		面接スキルの向上② ・面接力の向上		
10月	進路指導 一般教養とスキル養成	センター試験出願指導②、面接指導 ・センター入試の概要を理解する	主体的に取り組めたか ワークシート	4
		校内選考合格者指導、面接指導 ・合格後の学習方法を理解する		
		模試研究③		
		中間考査		
11月	進路指導 一般教養とスキル養成	一般受験者 受験指導	主体的に取り組めたか ワークシート	4
		校内選考合格者指導、面接指導 ・合格後の学習方法を理解する ・模試振り返り		
		一般入試受験者指導(予定表作成)、面接指導 ・一般入試に向けて準備を進める		
12月	進路指導	期末考査	主体的に取り組めたか	2
		指定校推薦合格者指導、一般受験者 受験指導② ・一般入試に向けて準備を進める		
		終業式		
1月	進路指導	センター試験受験指導③	主体的に取り組めたか	2
2月				
3月		学年末考査・卒業式予行・卒業式		
		修了式		